

令和5年度 健保組合医療費の動向に関する調査

令和7年3月
健康保険組合連合会
政策部 調査分析グループ

【調査の概要】

本調査は、社会保険診療報酬支払基金「診療報酬等請求内訳書等データ」と健保組合提供のデータをもとに、令和5年度の健保組合医療費の動向を取りまとめたものです。なお、第Ⅰ部「令和5年度 健保組合医療費の概況」（1,380 組合）と第Ⅱ部「令和5年度 疾病別医科医療費（調剤医療費を含まない）の動向」（1,310 組合）では、集計組合数と診療報酬明細書（レセプト）データが異なる点にご留意下さい。

【調査結果のポイント】

（第Ⅰ部）医療費の概況（1,380 組合）

- 令和5年度医療費は対前年度比4.5%（+2,300億円）増の5兆3,561億円。
- 診療区分別にみると、医科診療医療費は3兆5,536億円（対前年度比+2.4%）、歯科診療医療費は6,294億円（同+2.9%）、薬局調剤医療費は1兆1,456億円（同+12.3%）、訪問看護医療費は274億円（同+16.2%）となっている。
- 本人・家族別加入者1人当たり医療費をみると、本人は18万1,928円（対前年度比+4.5%）、家族は19万2,344円（同+6.7%）、そのうち未就学児は25万6,930円（同+6.5%）となっている。また、高齢者では70-74歳が54万9,410円（同+3.7%）、65-74歳（前期高齢者）が46万1,728円（同+2.9%）となっている。

（第Ⅱ部）疾病分類別医療費（1,310 組合）

- 疾病分類別医療費（医科診療計）の構成割合をみると、①新生物：14.6%、②呼吸器系疾患：10.8%、③循環器系疾患：9.3%、④内分泌・栄養・代謝疾患：7.3%、⑤新型コロナ関連等：7.0%—となっており、上位5疾患で全体の49.0%を占める。
- 加入者1人当たり医療費は、①新生物：1万6,867円、②呼吸器系疾患：1万2,482円、③循環器系疾患：1万763円、④内分泌・栄養・代謝疾患：8,483円、⑤新型コロナ関連等：8,032円。
- 推計新規入院件数（件/千人）は、新生物が7.7件と最も多く、次いで、消化器系疾患：6.5件、妊娠・分娩・産じょく：4.6件。
- 推計平均在院日数は、精神・行動障害：82.2日が最も長く、次いで、神経系疾患：16.5日、循環器系疾患：15.9日。
- 推計1入院当たり医療費は、精神・行動障害が171万6,872円と最も高く、次いで、循環器系疾患：144万8,832円、筋骨格系・結合組織疾患：110万5,594円。

第1部

令和5年度医療費の概況

(社会保険診療報酬支払基金の再審査分等調整後の確定ベース医療費)

I. 医療費の概況

(1) 医療費の年次推移	4
(2) 診療区分別医療費	5
(3) 診療区分別加入者1人当たり医療費	6
(4) 本人・家族・高齢者別医療費	7
(5) 本人・家族・高齢者別加入者1人当たり医療費	8
(参考) 本人・家族・高齢者別 診療区分別加入者1人当たり医療費及び構成割合	9
【総括表】診療区分別 本人・家族・高齢者別 医療費及び構成割合	10
【参考①】医療費総額の対前年度比伸び率の月別推移	11
【参考②】医療費総額及び診療区分別医療費の対前年度比伸び率の月別推移	12

第2部

疾病分類別にみた医療費及び受診状況

I. 疾病分類別医療費

(1) 医科診療計	14
(2) 医科入院	19
(3) 医科入院外	27
(4) 歯科診療計	31

II. 疾病分類別推計受診者数(年度平均)

(1) 医科診療計	34
(2) 医科入院	37
(3) 医科入院外	40
(4) 歯科診療計	43

(巻末)

1. 本調査における留意点	45
2. 用語の定義	47

第 1 部

令和 5 年度医療費の概況 (社会保険診療報酬支払基金の再審査分等調整後の確定ベース医療費)

I. 医療費の概況

(1) 医療費の年次推移	4
(2) 診療区分別医療費	5
(3) 診療区分別加入者 1 人当たり医療費	6
(4) 本人・家族・高齢者別医療費	7
(5) 本人・家族・高齢者別加入者 1 人当たり医療費	8
(参考) 本人・家族・高齢者別 診療区分別加入者 1 人当たり医療費及び構成割合	9
【総括表】診療区分別 本人・家族・高齢者別 医療費及び構成割合	10
【参考①】医療費総額の対前年度比伸び率の月別推移	11
【参考②】医療費総額及び診療区分別医療費の対前年度比伸び率の月別推移	12

1. 医療費の概況

(1) 医療費の年次推移

- 5年度の医療費総額は5兆3,561億円で、前年度に比べ2,300億円の増加（対前年度比4.5%）となっている。
- 加入者1人当たり医療費は19万594円で、前年度に比べ9,476円の増加（対前年度比5.2%）となっている。

医療費及び加入者1人当たり医療費の年次推移

年次	健康保険組合				(参考) 国民医療費		(参考) 後期高齢者医療費の国民医療費に対する割合 (%)
	医療費 (億円)	伸び率 (%)	1人当たり医療費 (円)	伸び率 (%)	医療費 (億円)	伸び率 (%)	
平成23年度	40,860	2.0	138,493	2.3	385,850	3.1	34.5
24年	41,410	1.4	140,712	1.6	392,117	1.6	34.9
25年	41,694	0.7	142,537	1.3	400,610	2.2	35.4
26年	42,475	1.9	145,441	2.0	408,071	1.9	35.5
27年	43,954	3.5	151,053	3.9	423,644	3.8	35.7
28年	44,202	0.6	150,145	-0.6	421,381	-0.5	36.5
29年	45,518	3.0	154,475	2.9	430,710	2.2	37.2
30年	46,209	1.5	156,438	1.3	433,949	0.8	27.8
令和元年度	46,347	0.3	160,462	2.6	443,895	2.3	38.4
2年	44,112	-4.8	153,217	-4.5	429,665	-3.2	38.6
3年	48,132	9.1	168,912	10.2	450,359	4.8	37.9
4年	51,261	6.5	181,118	7.2	466,967	3.7	—
5年	53,561	4.5	190,594	5.2	—	—	—

注1) 令和5年度の組合数は1,380組合である。

注2) 国民医療費は、厚労省「令和4(2022)年度 国民医療費の概況」による。

注3) 後期高齢者医療費の国民医療費に対する割合は、厚労省「令和4年度 後期高齢者医療事業状況報告(年報)」による。

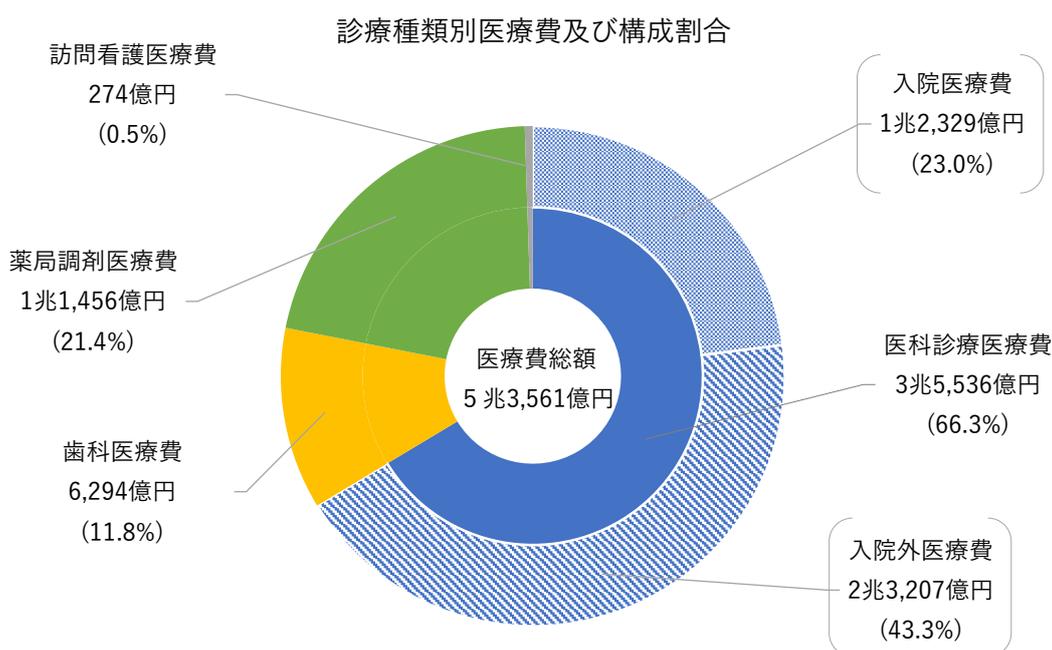
(2) 診療種別医療費

- 診療種別に見ると、医科診療医療費は 3 兆 5,536 億円（構成割合 66.3%）、そのうち、入院医療費は 1 兆 2,329 億円（同 23.0%）、入院外医療費は 2 兆 3,207 億円（同 43.3%）となっている。歯科診療医療費計は 6,294 億円（同 11.8%）、薬局調剤医療費は 1 兆 1,456 億円（同 21.4%）、訪問看護医療費は 274 億円（同 0.5%）となっている。
- 対前年度比伸び率をみると、医科診療医療費は 2.4%の増加、歯科診療計は 2.9%の増加、薬局調剤医療費は 12.3%の増加、訪問看護医療費は 16.2%の増加となっている。

診療種別医療費及び構成割合、対前年度比伸び率

診療種別	令和 5 年度		令和 4 年度		対前年度比	
	医療費 (億円)	構成割合 (%)	医療費 (億円)	構成割合 (%)	増減額 (億円)	伸び率 (%)
総計	53,561	100.0	51,261	100.0	2,300	4.5
診療費計	41,831	78.1	40,819	79.6	1,011	2.5
医科医療費計	35,536	66.3	34,703	67.7	833	2.4
入院医療費	12,329	23.0	11,869	23.2	460	3.9
入院外医療費	23,207	43.3	22,834	44.5	374	1.6
歯科医療費計	6,294	11.8	6,116	11.9	178	2.9
薬局調剤医療費	11,456	21.4	10,205	19.9	1,251	12.3
訪問看護医療費	274	0.5	236	0.5	38	16.2

注) 医科入院費は入院時食医療費及び入院時生活医療費を含む。



(3) 診療種類別¹加入者1人当たり医療費

- 診療種類別加入者1人当たり医療費をみると、医科入院は4万3,873円、医科入院外は8万2,581円、歯科計は2万2,397円、調剤は4万766円となっている。
- 対前年度比伸び率をみると、医科入院は4.6%の増加、医科入院外は2.4%の増加、歯科計は3.6%の増加、調剤は13.1%の増加となっている。
- 調剤の対前年度比伸び率が増加した要因を医療費3要素分解からみると、1日当たり医療費は▲0.1%減少したものの、受診率が+12.6%と大きく増加したことによる。
- また、医科入院外が医科入院と比べて伸び率が低いのは、受診率が医科入院より+4.3%高いものの、1件当たり日数が▲1.6%、さらに1日当たり医療費が▲4.9%低いからである。

診療種類別 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

診療種類	加入者1人当たり 医療費 (円)	受診率 (件/千人)	1件当たり 日数 (日)	1日当たり 医療費 (円)
医科入院	43,873	76	8.23	69,674
医科入院外	82,581	6,768	1.34	9,091
歯科計	22,397	1,869	1.46	8,217
調剤	40,766	4,580	1.17	7,624

診療種類別 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素 対前年度比伸び率(%)

診療種類	加入者1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
医科入院	4.6	3.2	0.1	1.3
医科入院外	2.4	7.5	▲1.5	▲3.6
歯科計	3.6	3.9	▲2.0	2.0
調剤	13.1	12.6	0.9	▲0.1

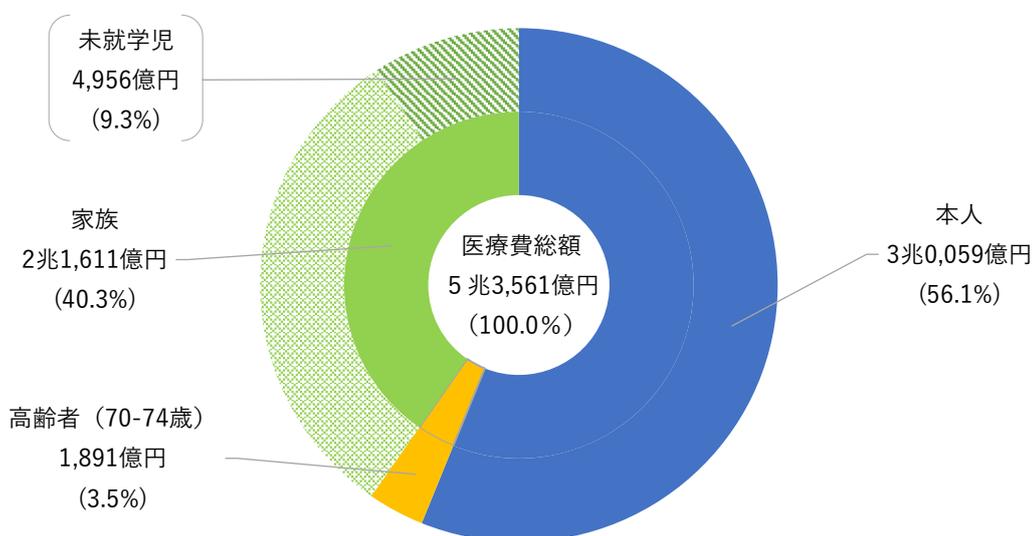
注) 調剤レセプトは診療実日数ではなく、処方箋発行回数を使用しているため、「1件当たり日数」は「1件当たり回数」、「1日当たり医療費」は「1回当たり医療費」となる。

¹ 診療種類名については、便宜上、入院医療費を「医科入院」、入院外医療費を「医科入院外」、歯科診療医療費計を「歯科計」、薬局調剤医療費を「調剤」としている(以下、同じ)。

(4) 本人・家族・高齢者別医療費

- 本人・家族・高齢者別医療費をみると、本人は3兆59億円（構成割合56.1%）、家族は2兆1,611億円（同40.3%）、そのうち、未就学児は4,956億円（同9.3%。なお、家族に占める割合は22.9%）となっている。
- また、高齢者では、70-74歳が1,891億円（同3.5%）、65-74歳（前期高齢者）が4,704億円（同8.8%）となっている。
- 対前年度比伸び率をみると、本人は5.3%の増加、家族は3.9%の増加、そのうち、未就学児は2.7%の増加となっている。
- また、高齢者では、70-74歳が▲1.1%の減少、65-74歳（前期高齢者）が2.7%の増加となっており、本人・家族と比べて低い伸び率となっている。

本人・家族・高齢者別医療費及び構成割合



本人・家族・高齢者別医療費及び対前年度比伸び率

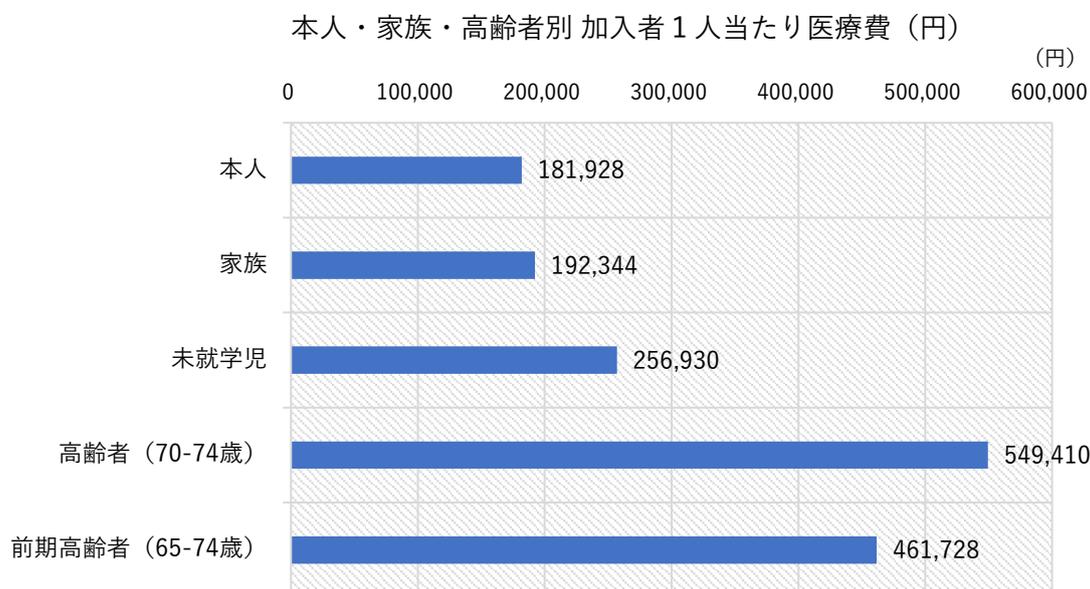
本人・家族・高齢者	令和5年度		令和4年度		対前年度比	
	医療費 (億円)	構成割合 (%)	医療費 (億円)	構成割合 (%)	増減額 (億円)	伸び率 (%)
総計	53,561	100.0	51,261	100.0	2,300	4.5
本人	30,059	56.1	28,544	55.7	1,515	5.3
家族	21,611	40.3	20,804	40.6	807	3.9
未就学児 (再掲)	4,956	9.3	4,825	9.4	131	2.7
高齢者 (70-74歳)	1,891	3.5	1,913	3.7	▲21	▲1.1
前期高齢者 (再掲)	4,704	8.8	4,580	8.9	124	2.7

注1) 高齢者は、本人・家族を除いた70-74歳の加入者のことである。

注2) 前期高齢者 (再掲) は、65-74歳の加入者のことである。

(5) 本人・家族・高齢者別加入者1人当たり医療費

- 本人・家族・高齢者別加入者1人当たり医療費をみると、本人は18万1,928円、家族は19万2,344円、そのうち、未就学児は25万6,930円となっている。
- また、高齢者では、70-74歳が54万9,410円、65-74歳（前期高齢者）が46万1,728円となっている。
- 対前年度比伸び率をみると、本人は4.5%の増加、家族は6.7%の増加、そのうち、未就学児は6.5%の増加となっている。
- また、高齢者では、70-74歳が3.7%の増加、65-74歳（前期高齢者）が2.9%の増加となっている。

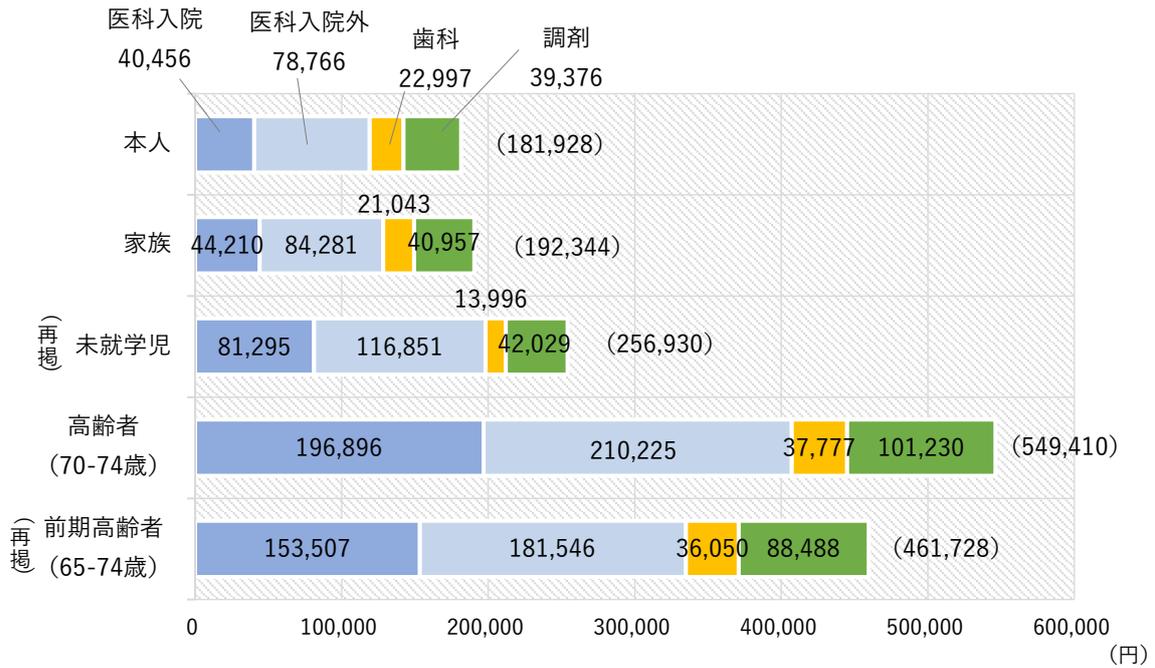


本人・家族・高齢者別 加入者1人当たり医療費及び対前年度比伸び率

本人・家族・高齢者	加入者1人当たり医療費 (円)		対前年度比	
	令和5年度	令和4年度	増減額 (円)	伸び率 (%)
総計	190,594	181,118	9,476	5.2
本人	181,928	174,048	7,880	4.5
家族	192,344	180,259	12,085	6.7
未就学児 (再掲)	256,930	241,145	15,785	6.5
高齢者 (70-74歳)	549,410	529,565	19,845	3.7
前期高齢者 (再掲)	461,728	448,933	12,795	2.9

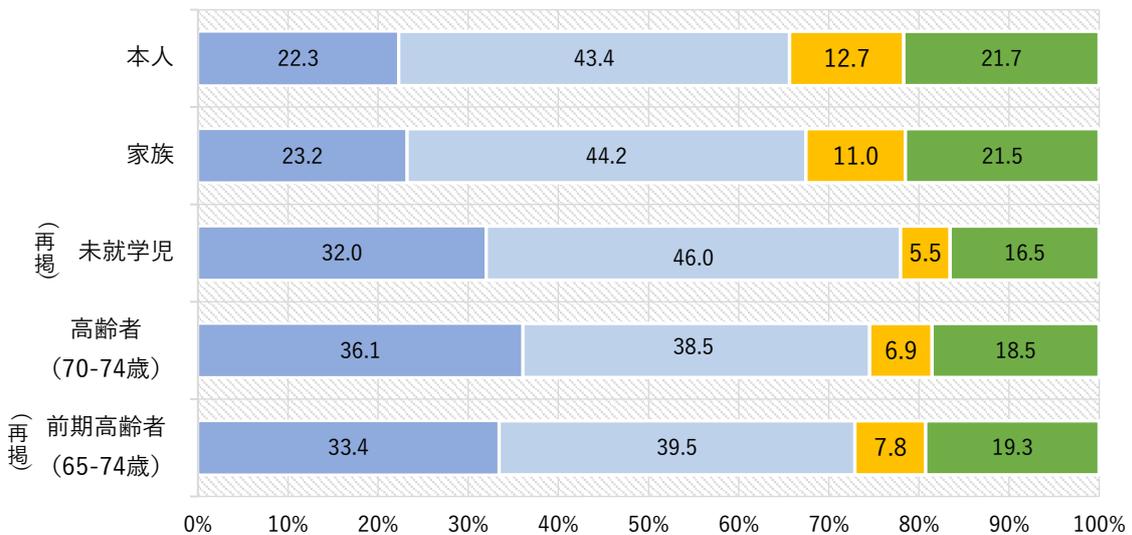
- (参考) 本人・家族・高齢者別 診療区分別加入者1人当たり医療費及び構成割合
- 本人・家族では医科入院外の割合が高く、高齢者では、本人・家族に比べ、医科入院の割合が高くなっている。なお、未就学児は、本人・家族に比べ、医科入院・入院外ともに高い割合となっている。

本人・家族・高齢者別 診療区分別 加入者1人当たり医療費 (円)



注) カッコ内は、訪問看護医療費を含めた加入者1人当たり医療費である。

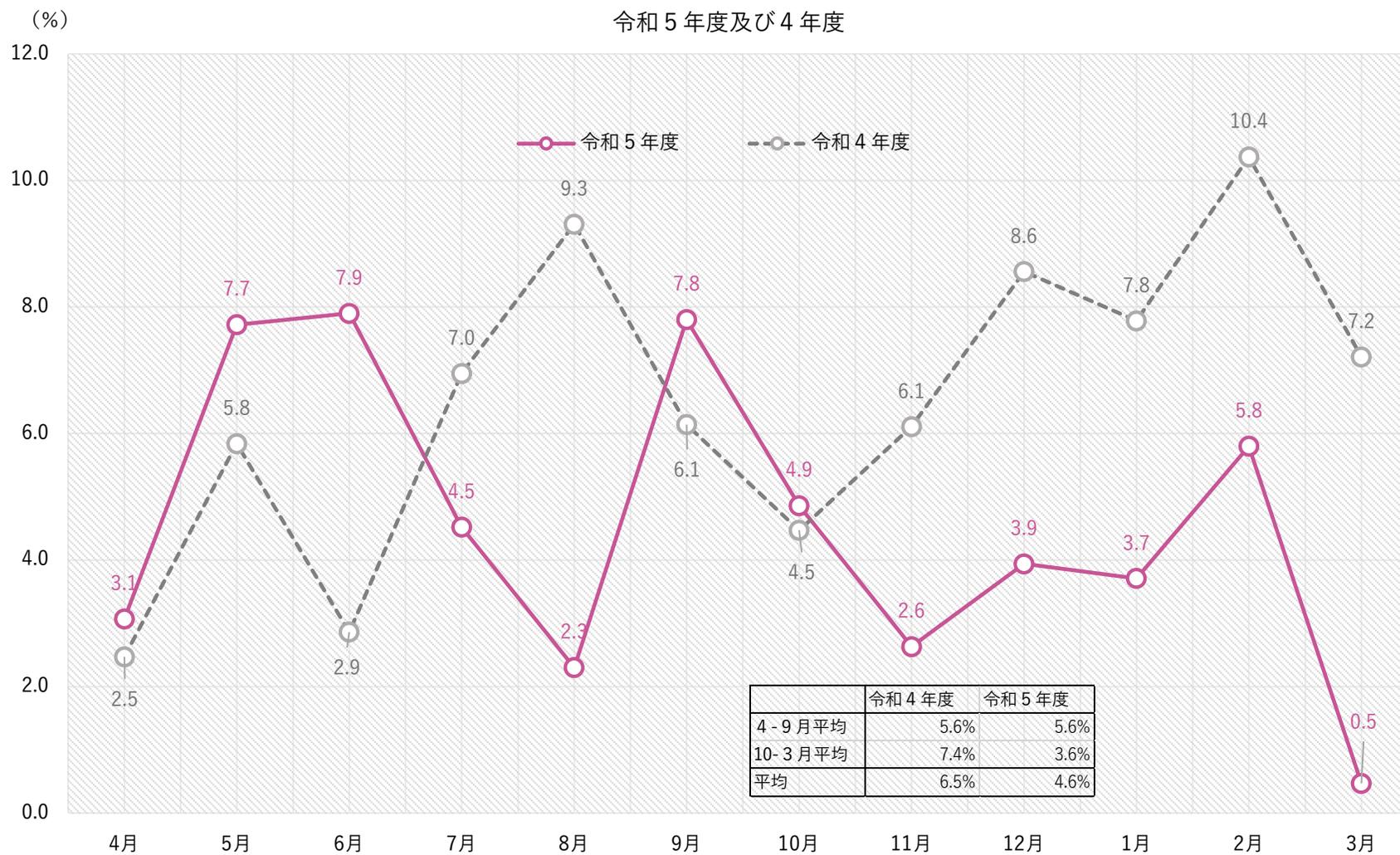
本人・家族・高齢者別 診療区分別 加入者1人当たり医療費 構成割合



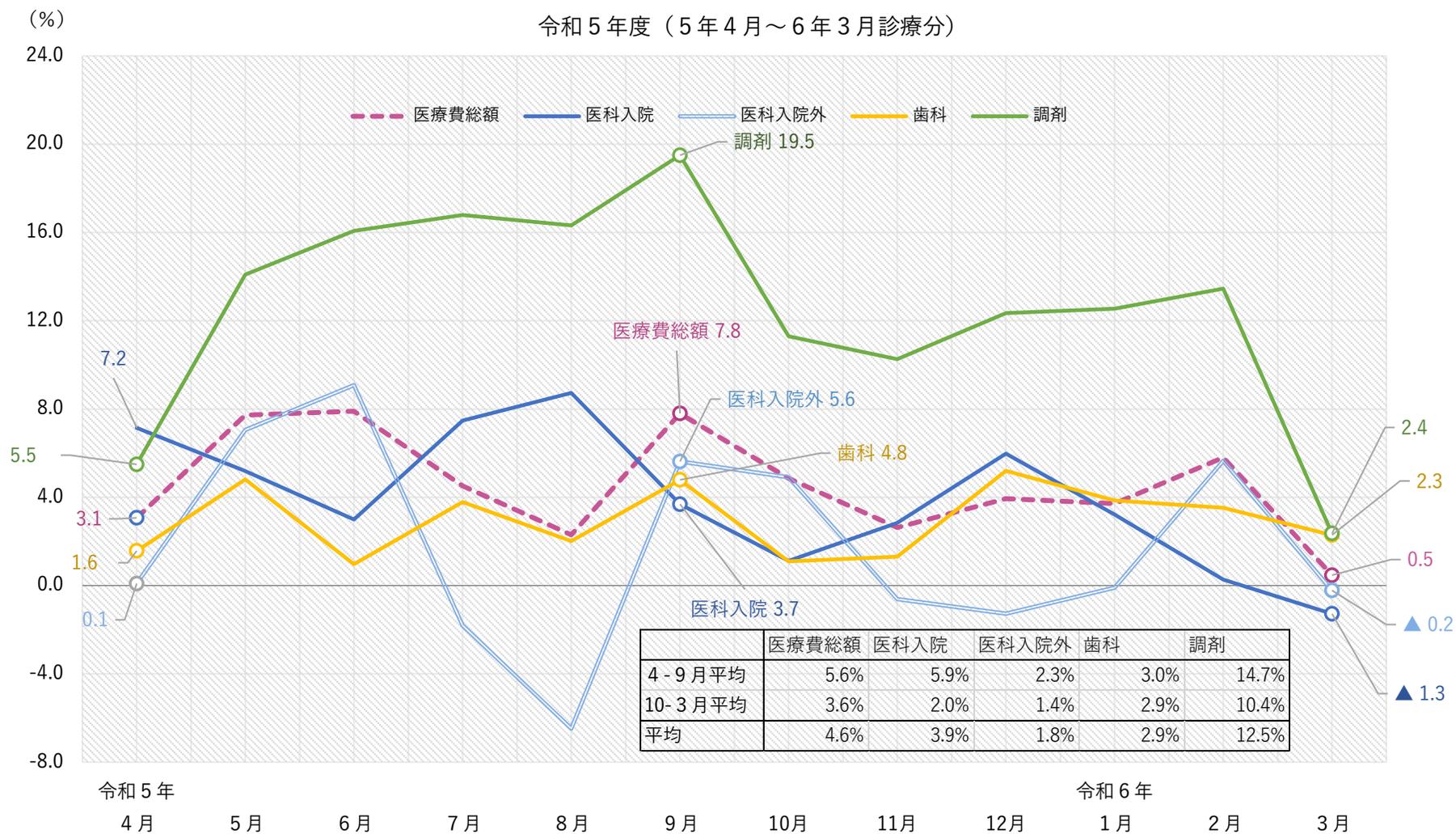
【総括表】診療種類別 本人・家族・高齢者別医療費及び加入者1人当たり医療費

本人・家族・高齢者	令和5年度			令和4年度			対前年度比	
	医療費 (億円)	構成割合 (%)	1人当 り医療費 (円)	医療費 (億円)	構成割合 (%)	1人当 り医療費 (円)	1人当 り増減額 (円)	1人当 り伸び率 (%)
総数								
総計	53,561	100.0	190,594	51,261	100.0	181,118	9,476	5.2
本人	30,059	56.1	181,928	28,544	55.7	174,048	7,880	4.5
家族	21,611	40.3	192,344	20,804	40.6	180,259	12,085	6.7
未就学児（再掲）	4,956	9.3	256,930	4,825	9.4	241,145	15,785	6.5
高齢者（70-74歳）	1,891	3.5	549,410	1,913	3.7	529,565	19,845	3.7
前期高齢者（再掲）	4,704	8.8	461,728	4,580	8.9	448,933	12,795	2.9
医科入院								
総計	12,329	100.0	43,873	11,869	100.0	41,938	1,935	4.6
本人	6,684	54.2	40,456	6,384	53.8	38,926	1,530	3.9
家族	4,967	40.3	44,210	4,811	40.5	41,687	2,523	6.1
未就学児（再掲）	1,568	12.7	81,295	1,460	12.3	72,954	8,341	11.4
高齢者（70-74歳）	678	5.5	196,896	674	5.7	186,707	10,189	5.5
前期高齢者（再掲）	1,564	12.7	153,507	1,512	12.7	148,186	5,321	3.6
医科入院外								
総計	23,207	100.0	82,581	22,834	100.0	80,677	1,904	2.4
本人	13,014	56.1	78,766	12,678	55.5	77,304	1,462	1.9
家族	9,470	40.8	84,281	9,417	41.2	81,597	2,684	3.3
未就学児（再掲）	2,254	9.7	116,851	2,338	10.2	116,832	19	0.0
高齢者（70-74歳）	724	3.1	210,225	738	3.2	204,432	5,793	2.8
前期高齢者（再掲）	1,850	8.0	181,546	1,812	7.9	177,643	3,903	2.2
歯科								
総計	6,294	100.0	22,397	6,116	100.0	21,610	787	3.6
本人	3,800	60.4	22,997	3,642	59.5	22,206	791	3.6
家族	2,364	37.6	21,043	2,340	38.3	20,272	771	3.8
未就学児（再掲）	270	4.3	13,996	275	4.5	13,751	245	1.8
高齢者（70-74歳）	130	2.1	37,777	135	2.2	37,306	471	1.3
前期高齢者（再掲）	367	5.8	36,050	364	5.9	35,642	408	1.1
調剤								
総計	11,456	100.0	40,766	10,205	100.0	36,059	4,707	13.1
本人	6,506	56.8	39,376	5,793	56.8	35,325	4,051	11.5
家族	4,602	40.2	40,957	4,058	39.8	35,164	5,793	16.5
未就学児（再掲）	811	7.1	42,029	706	6.9	35,295	6,734	19.1
高齢者（70-74歳）	348	3.0	101,230	354	3.5	97,941	3,289	3.4
前期高齢者（再掲）	902	7.9	88,488	871	8.5	85,418	3,070	3.6

【参考①】医療費総額の対前年度伸び率の月別推移



【参考②】医療費総額及び診療区分別医療費の対前年度比伸び率の月別推移



■ 第2部

疾病分類別にみた医療費及び受診状況

I. 疾病分類別医療費

(1) 医科診療計	14
(2) 医科入院	19
(3) 医科入院外	27
(4) 歯科診療計	31

II. 疾病分類別推計受診者数（年度平均）

(1) 医科診療計	34
(2) 医科入院	37
(3) 医科入院外	40
(4) 歯科診療計	43

（巻末）

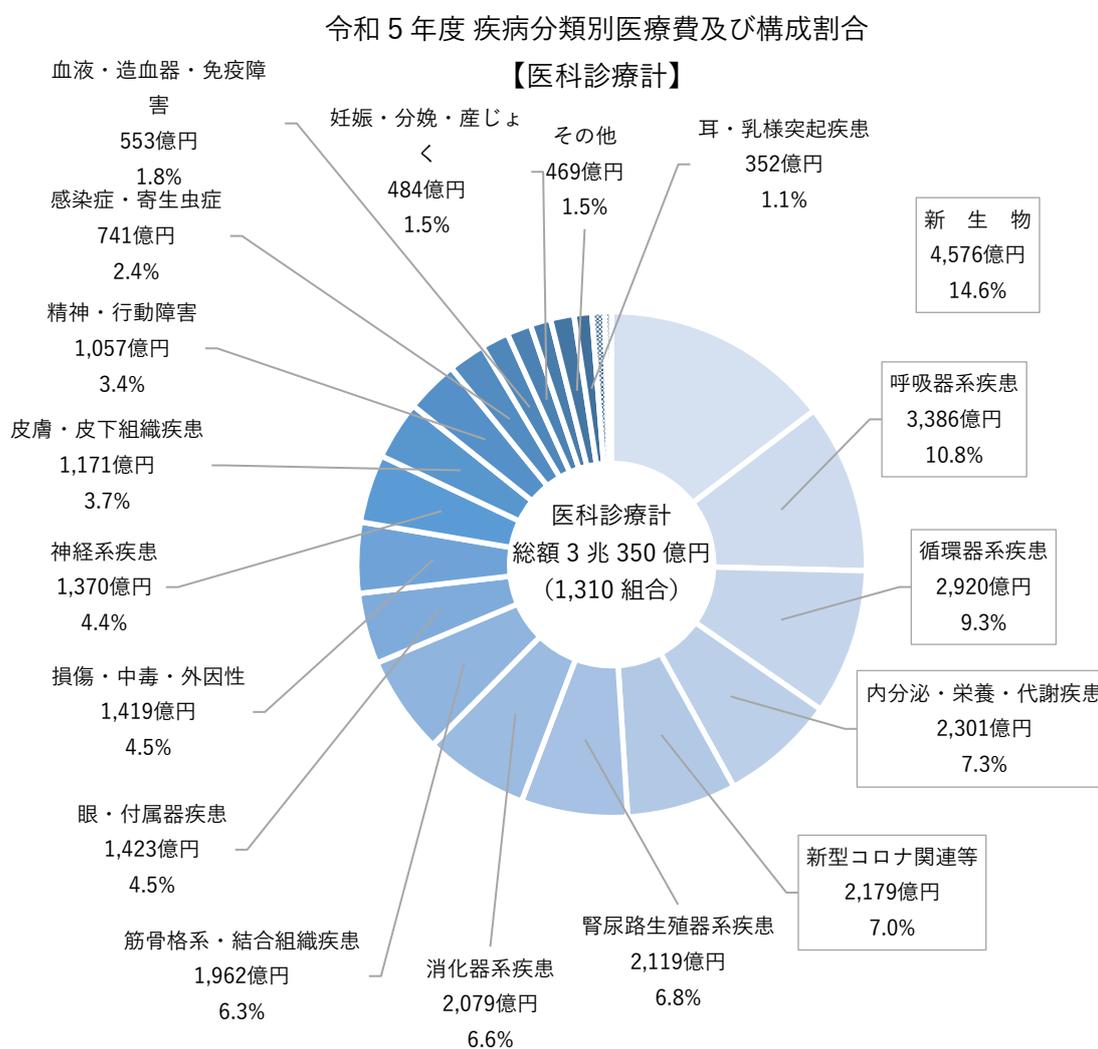
1. 本調査における留意点	45
2. 用語の定義	47

1. 疾病分類別医療費

(1) 医科診療計 (* 調剤医療費を除く)

1) 医療費及び構成割合

- 疾病分類別医療費をみると、①新生物：4,576 億円（構成割合 14.6%）が最も高く、次いで、②呼吸器系疾患：3,386 億円（同 10.8%）、③循環器系疾患：2,920 億円（同 9.3%）、④内分泌・栄養・代謝疾患：2,301 億円（同 7.3%）、⑤新型コロナ関連等：2,179 億円（同 7.0%） — となっている。



注) 医療費割合が 1.0%未満の疾病については、グラフ中の表示を省略している (以下、同じ)。

(参考) 疾病分類別医療費構成割合：前年度との比較

医科診療計		
疾病分類	構成割合 (%)	
	令和5年度 (1,310 組合)	令和4年度 (1,310 組合)
感染症・寄生虫症	2.4	2.3
新生物	14.6	14.5
血液・造血器・免疫障害	1.8	1.7
内分泌・栄養・代謝疾患	7.3	7.4
精神・行動障害	3.4	3.3
神経系疾患	4.4	4.0
眼・付属器疾患	4.5	4.6
耳・乳様突起疾患	1.1	1.1
循環器系疾患	9.3	9.3
呼吸器系疾患	10.8	8.3
消化器系疾患	6.6	6.6
皮膚・皮下組織疾患	3.7	3.7
筋骨格系・結合組織疾患	6.3	6.2
腎尿路生殖器系疾患	6.8	6.8
妊娠・分娩・産じょく	1.5	1.6
周産期発生病態	0.4	0.5
先天奇形変形・染色体異常	0.8	0.8
他に分類されないもの	1.3	1.3
損傷・中毒・外因性	4.5	4.4
新型コロナ関連等	7.0	10.2
その他	1.5	1.5

注1) 「他に分類されないもの」とは、「XVIII：症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)」である。

注2) 「新型コロナ関連等」は、新型コロナウイルス (COVID-19) が疾病分類上、「XXII：特殊目的用コード (U00-99)」に分類されているため、本調査では便宜上、名称を「新型コロナ関連等」と置き換えている。

注3) 「その他」とは、「XXI：健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 (Z00-Z99)」のほか、ワープロ病名・不詳等である。

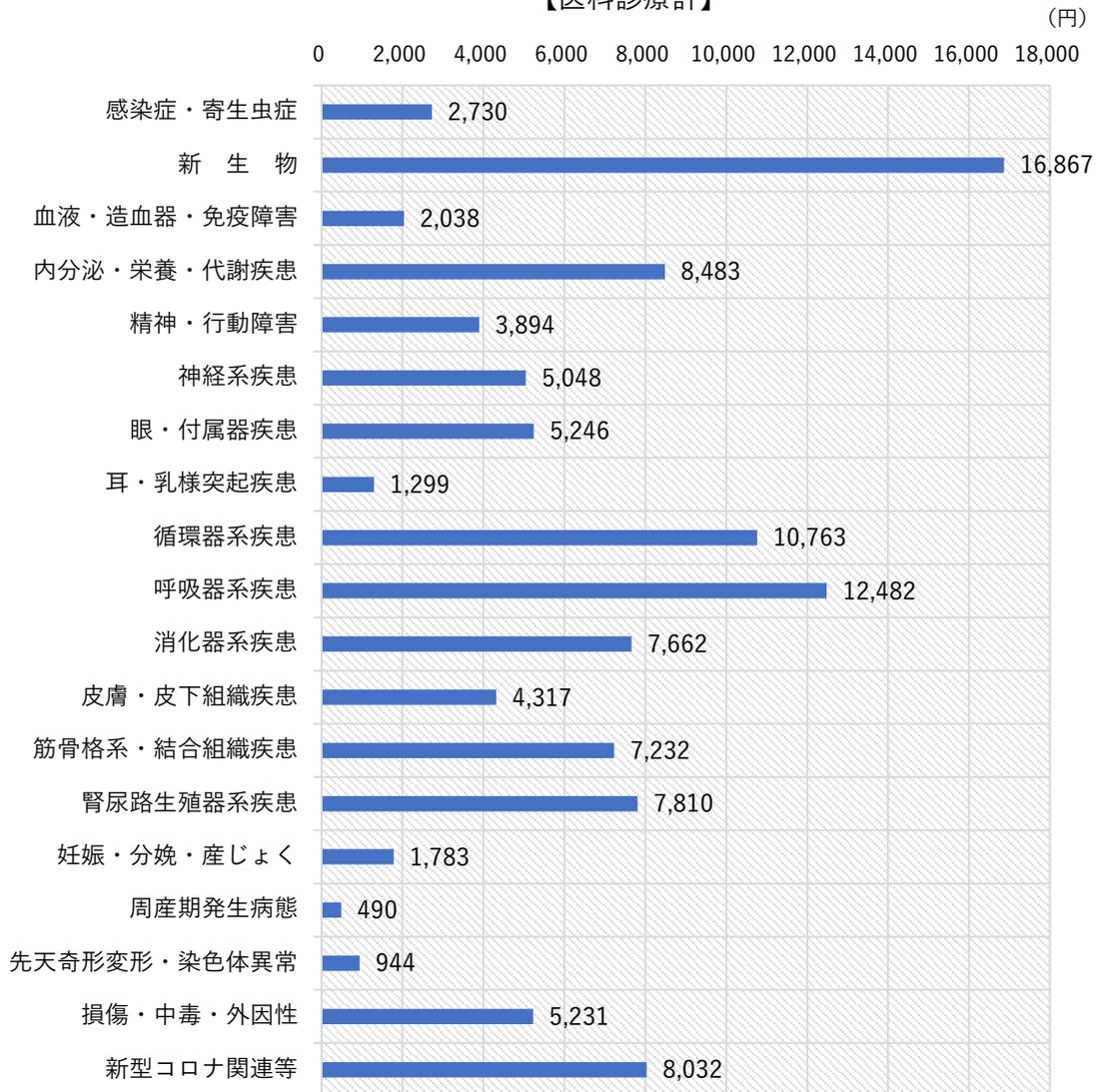
注4) なお、加入者1人当たり及び医療費3要素等の諸指標 (別掲「グラフ」) については、便宜上、「他に分類されるもの」及び「その他」を省略している。

2) 加入者1人当たり医療費

- 加入者1人当たり医療費を高い順にみると、①新生物：1万6,867円、②呼吸器系疾患：1万2,482円、③循環器系疾患：1万763円、④内分泌・栄養・代謝疾患：8,483円、⑤新型コロナ関連等：8,032円となっている。
- 加入者1人当たり医療費が高い新生物と呼吸器系疾患について、医療費3要素分解²を用いて比較すると（p.17）、呼吸器系疾患は新生物に比べ、受診率が+1,036.73高いが、新生物は呼吸器系疾患に比べ、1件当たり日数が+0.36日長く、さらに1日当たり医療費が+3万3,278円高いため、加入者1人当たり医療費が高くなっている。

令和5年度 疾病分類別 加入者1人当たり医療費（円）

【医科診療計】



² 加入者1人当たり医療費 = 受診率 × レセプト1件当たり日数 × 1日当たり医療費

(参考) 令和5年度 疾病分類別 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

医科診療計				
疾病分類	1人当たり医療費 (円)	受診率 (件/千人)	1件当たり日数 (日)	1日当たり医療費 (円)
感染症・寄生虫症	2,730	235.051	1.47	7,900
新生物	16,867	247.179	1.68	40,640
血液・造血器・免疫障害	2,038	29.361	1.64	42,226
内分泌・栄養・代謝疾患	8,483	554.321	1.19	12,828
精神・行動障害	3,894	323.119	1.55	7,790
神経系疾患	5,048	234.299	1.44	14,998
眼・付属器疾患	5,246	583.954	1.13	7,919
耳・乳様突起疾患	1,299	125.860	1.41	7,318
循環器系疾患	10,763	431.122	1.29	19,350
呼吸器系疾患	12,482	1283.909	1.32	7,362
消化器系疾患	7,662	301.257	1.38	18,485
皮膚・皮下組織疾患	4,317	679.254	1.22	5,190
筋骨格系・結合組織疾患	7,232	385.848	2.06	9,104
腎尿路生殖器系疾患	7,810	263.775	1.73	17,129
妊娠・分娩・産じょく	1,783	18.324	3.14	30,987
周産期発生病態	490	2.077	4.17	56,527
先天奇形変形・染色体異常	944	13.168	1.54	46,624
損傷・中毒・外因性	5,231	198.149	2.06	12,817
新型コロナウイルス関連等	8,032	485.367	1.35	12,288

3) 加入者1人当たり医療費の対前年度比伸び率：1,294 組合ベース³

- 加入者1人当たり医療費の対前年度比伸び率を高い順にみると、呼吸器系疾患が+35.5%と最も増加し、次いで、神経系疾患+13.3%、耳・乳様突起疾患+11.7%—の増加となっている。一方、新型コロナ関連等は▲28.6%と大きく減少した。
- 呼吸器系疾患が大きく伸びた要因を医療費3要素分解からみると、1日当たり医療費は▲3.2%減少したものの、受診率が+40.0%と最も増加したことによる。
- また、新型コロナ関連等が大きく減少した要因を医療費3要素分解からみると、受診率が▲2.1%減少し、1件当たり日数が▲6.3%減少したほか、1日当たり医療費が▲21.8%と大きく減少したことによる⁴。

令和5年度 医療費総額、加入者1人当たり医療費及び医療費3要素 対前年度比伸び率(%)

医科診療計						
疾病分類	医療費総額	加入者1人 当たり医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費	
感染症・寄生虫症	7.5	8.1	8.9	▲1.3	0.7	
新生物	4.4	5.0	3.0	▲1.2	3.3	
血液・造血器・免疫障害	8.2	8.8	4.2	▲0.6	4.9	
内分泌・栄養・代謝疾患	3.0	3.6	2.1	0.0	1.3	
精神・行動障害	5.1	5.7	3.9	▲0.6	2.2	
神経系疾患	12.6	13.3	6.4	▲0.7	7.6	
眼・付属器疾患	3.5	4.1	1.3	0.0	2.7	
耳・乳様突起疾患	11.0	11.7	9.3	1.4	0.5	
循環器系疾患	4.5	5.0	▲0.1	0.8	4.5	
呼吸器系疾患	34.7	35.5	40.0	0.0	▲3.2	
消化器系疾患	4.0	4.6	▲0.1	0.0	4.7	
皮膚・皮下組織疾患	6.2	6.8	2.6	▲0.8	4.1	
筋骨格系・結合組織疾患	4.5	5.1	0.5	▲0.5	5.1	
腎尿路生殖器系疾患	4.0	4.6	4.5	▲2.8	3.2	
妊娠・分娩・産じょく	0.2	0.8	▲4.6	1.0	4.4	
周産期発生病態	▲2.5	▲1.8	▲6.9	3.2	2.0	
先天奇形変形・染色体異常	3.9	4.4	▲2.1	0.7	6.1	
損傷・中毒・外因性	6.1	6.7	2.5	0.0	4.3	
新型コロナ関連等	▲29.0	▲28.6	▲2.1	▲6.3	▲21.8	

³ 5年度と4年度の両年度にわたりデータ提供のあった同一の1,294組合の数値をもとに算出している（以下、同じ）。

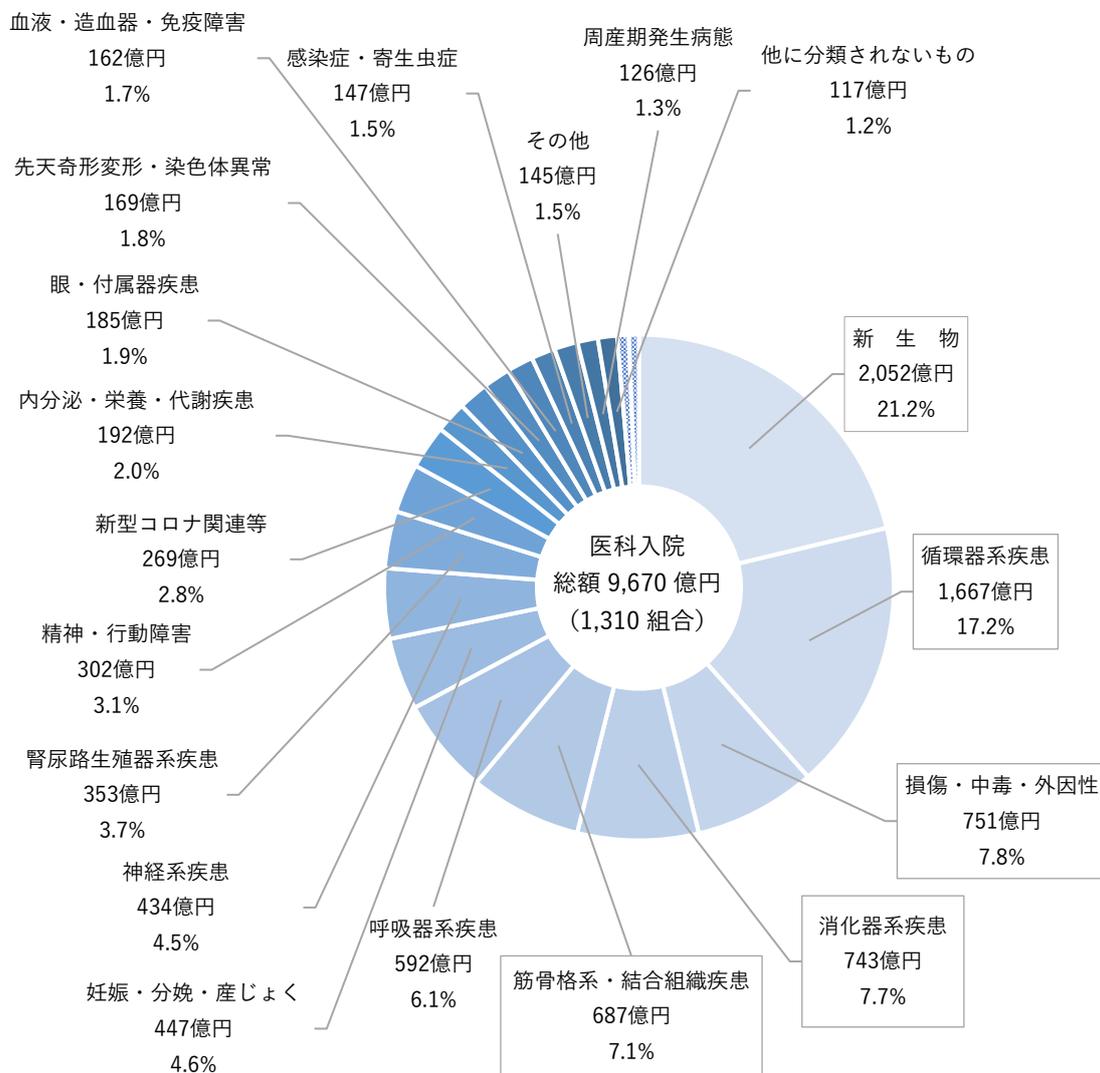
⁴ 1日当たり医療費の伸び率が減少したのは、令和5年10月からCOVID-19がインフルエンザと同じ5類感染症となり、診療報酬上の特例が段階的に廃止されていることの影響が大きい（以下、同じ）。

(2) 医科入院

1) 医療費及び構成割合

- 疾病分類別医療費をみると、①新生物：2,052 億円（構成割合 21.2%）が最も高く、次いで、②循環器系疾患：1,667 億円（同 17.2%）、③損傷・中毒・外因性：751 億円（同 7.8%）、④消化器系疾患：743 億円（同 7.7%）⑤筋骨格系・結合組織疾患：687 億円（同 7.1%）一となっている。

令和 5 年度 疾病分類別医療費及び構成割合
【医科入院】

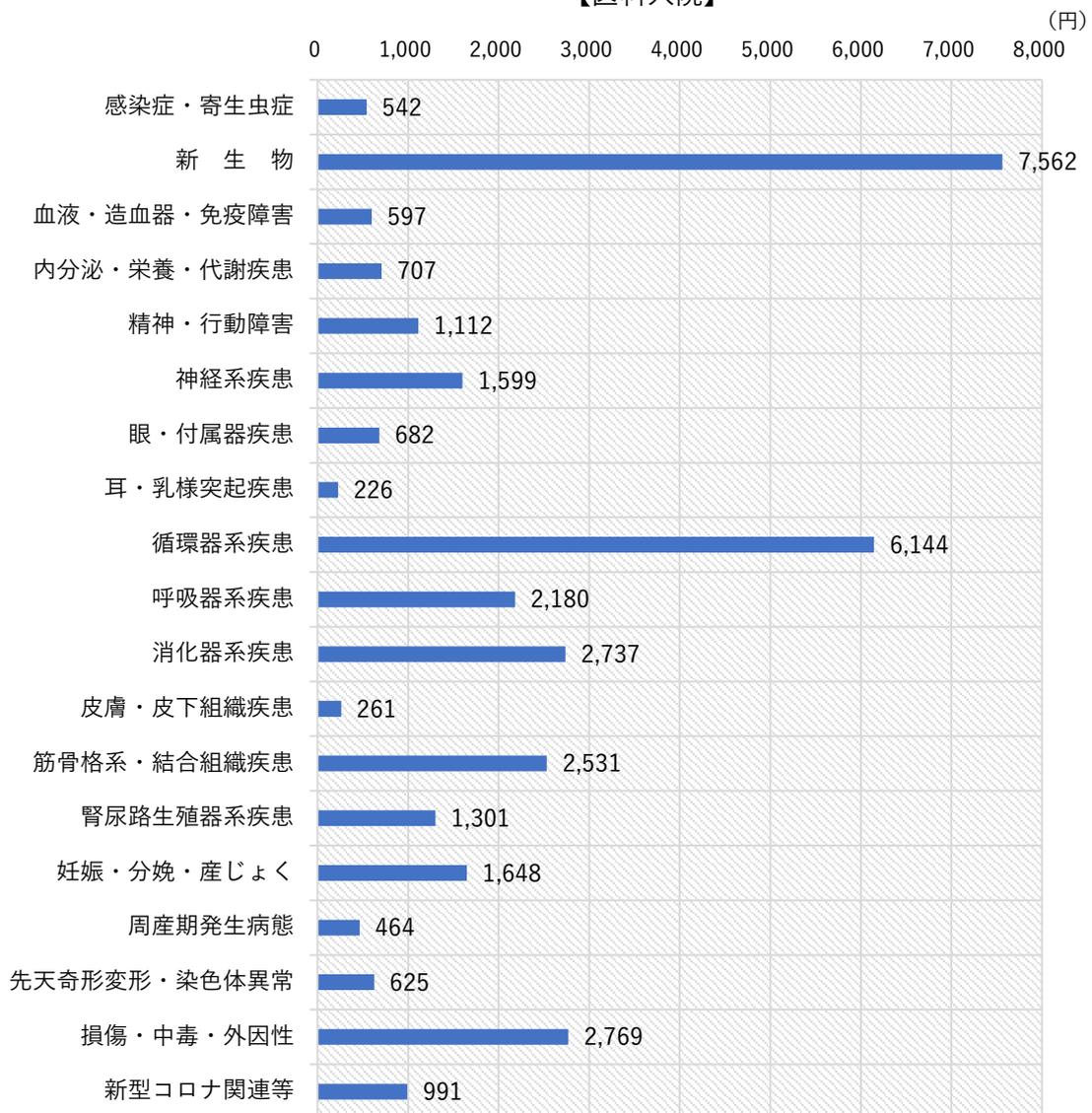


2) 加入者1人当たり医療費

- 加入者1人当たり医療費を高い順にみると、①新生物：7,562円、②循環器系疾患：6,144億円、③損傷・中毒・外因性：2,769円、④消化器系疾患：2,737円、⑤筋骨格系・結合組織疾患：2,531円—となっている。
- 加入者1人当たり医療費が高い新生物と循環器系疾患について、医療費3要素分解を用いて比較すると（p.21）、循環器系疾患は新生物に比べ、1件当たり日数が+2.84日長いが、新生物は循環器系疾患に比べ、受診率が+3.761長く、さらに1日当たり医療費が+4,704円高いため、加入者1人当たり医療費が高くなっている。

令和5年度 疾病分類別 加入者1人当たり医療費（円）

【医科入院】



(参考) 令和5年度 疾病分類別 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

医科入院				
疾病分類	1人当たり医療費 (円)	受診率 (件/千人)	1件当たり日数 (日)	1日当たり医療費 (円)
感染症・寄生虫症	542	1.234	8.01	54,860
新生物	7,562	10.082	7.84	95,727
血液・造血器・免疫障害	597	1.230	7.77	62,418
内分泌・栄養・代謝疾患	707	1.708	8.62	48,008
精神・行動障害	1,112	2.376	22.40	20,894
神経系疾患	1,599	3.269	10.92	44,811
眼・付属器疾患	682	1.673	4.34	93,848
耳・乳様突起疾患	226	0.477	5.57	85,030
循環器系疾患	6,144	6.321	10.68	91,023
呼吸器系疾患	2,180	4.823	7.19	62,856
消化器系疾患	2,737	7.684	5.60	63,628
皮膚・皮下組織疾患	261	0.716	7.81	46,683
筋骨格系・結合組織疾患	2,531	3.376	10.47	71,606
腎尿路生殖器系疾患	1,301	3.283	5.82	68,097
妊娠・分娩・産じょく	1,648	5.681	6.38	45,462
周産期発生病態	464	0.702	9.38	70,363
先天奇形変形・染色体異常	625	0.748	6.81	122,686
損傷・中毒・外因性	2,769	5.589	7.30	67,843
新型コロナウイルス関連等	991	3.469	5.40	52,900

3) 加入者1人当たり医療費の対前年度比伸び率：1,294 組合ベース

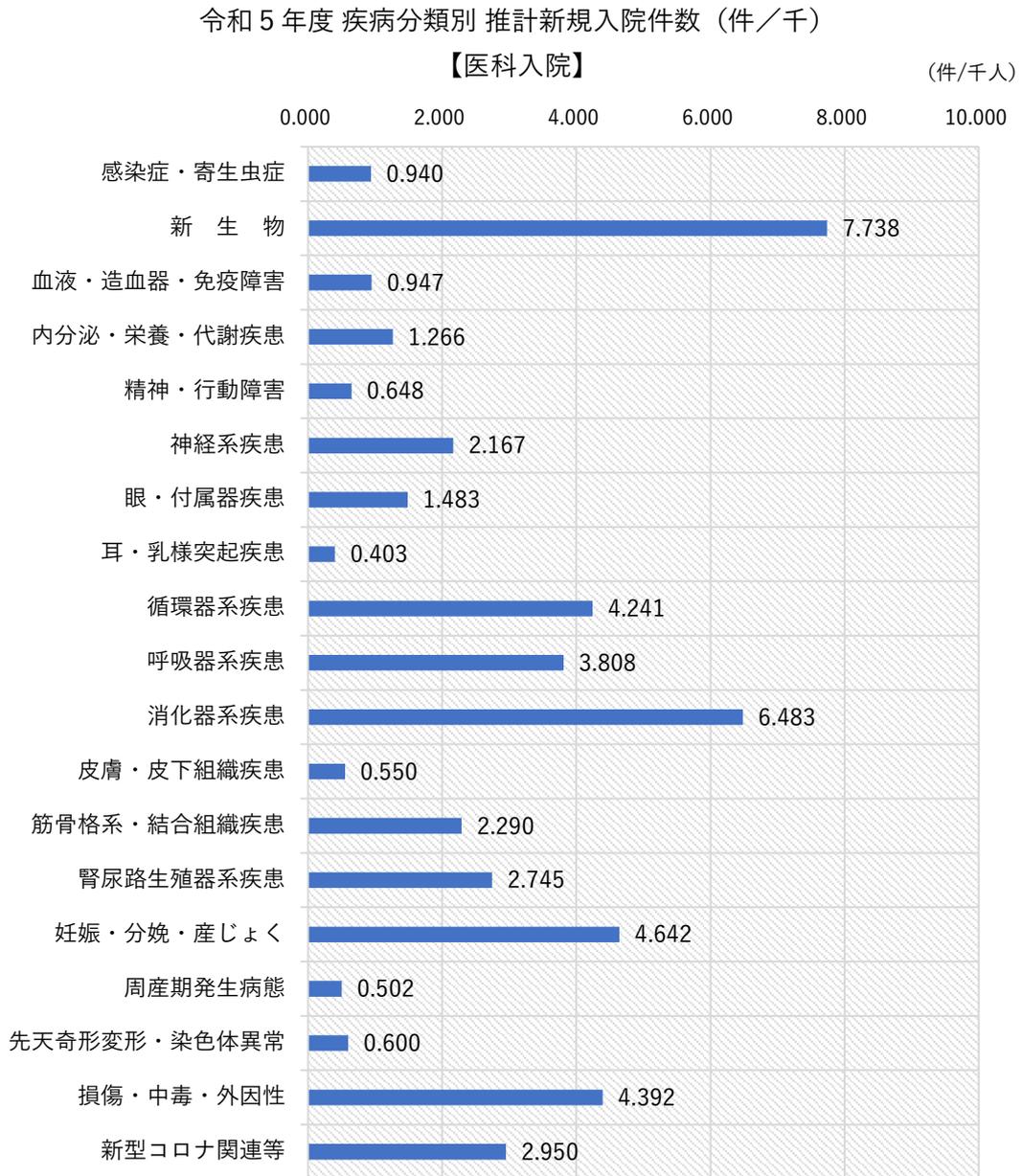
- 加入者1人当たり医療費の対前年度比伸び率をみると、呼吸器系疾患が+33.7%と最も増加したほか、皮膚・皮下組織疾患+21.4%、感染症・寄生虫症+14.6%、内分泌・栄養・代謝疾患+14.6%—の増加となっている。一方、新型コロナ関連等は▲14.1%と最も減少した。
- 呼吸器系疾患が伸びた要因を医療費3要素分解からみると、1件当たり日数は▲7.9%、1日当たり医療費は▲1.0%と減少したものの、受診率が+46.8%と増加したことによる。
- また、新型コロナ関連等が最も減少した要因を医療費3要素分解からみると、1件当たり日数は+7.1%、1日当たり医療費は+13.2%と増加したものの、受診率が▲29.1%と大きく減少したことによる。

令和5年度 医療費総額、加入者1人当たり医療費及び医療費3要素 対前年度比伸び率(%)

医科入院						
疾病分類	医療費総額	加入者1人 当たり医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費	
感染症・寄生虫症	14.0	14.6	24.9	▲7.9	▲0.3	
新生物	4.8	5.4	3.2	▲1.3	3.5	
血液・造血器・免疫障害	9.9	10.6	7.4	▲0.6	3.6	
内分泌・栄養・代謝疾患	13.9	14.6	18.1	▲4.7	1.7	
精神・行動障害	11.3	12.0	11.3	▲1.5	2.0	
神経系疾患	10.5	11.0	12.6	▲3.5	2.3	
眼・付属器疾患	6.2	6.7	5.9	▲0.7	1.7	
耳・乳様突起疾患	13.4	13.6	22.1	▲8.8	2.5	
循環器系疾患	8.3	8.9	7.6	▲0.1	1.2	
呼吸器系疾患	33.0	33.7	46.8	▲7.9	▲1.0	
消化器系疾患	3.8	4.4	5.1	▲1.6	1.0	
皮膚・皮下組織疾患	20.8	21.4	24.1	▲4.8	2.8	
筋骨格系・結合組織疾患	11.6	12.2	12.3	▲0.6	0.5	
腎尿路生殖器系疾患	7.5	8.2	7.2	0.2	0.7	
妊娠・分娩・産じょく	0.8	1.4	1.4	▲2.0	2.0	
周産期発生病態	▲1.6	▲1.1	▲4.1	1.7	1.4	
先天奇形変形・染色体異常	1.3	1.8	0.4	0.9	0.6	
損傷・中毒・外因性	8.5	9.1	11.2	▲2.0	0.2	
新型コロナ関連等	▲14.6	▲14.1	▲29.1	7.1	13.2	

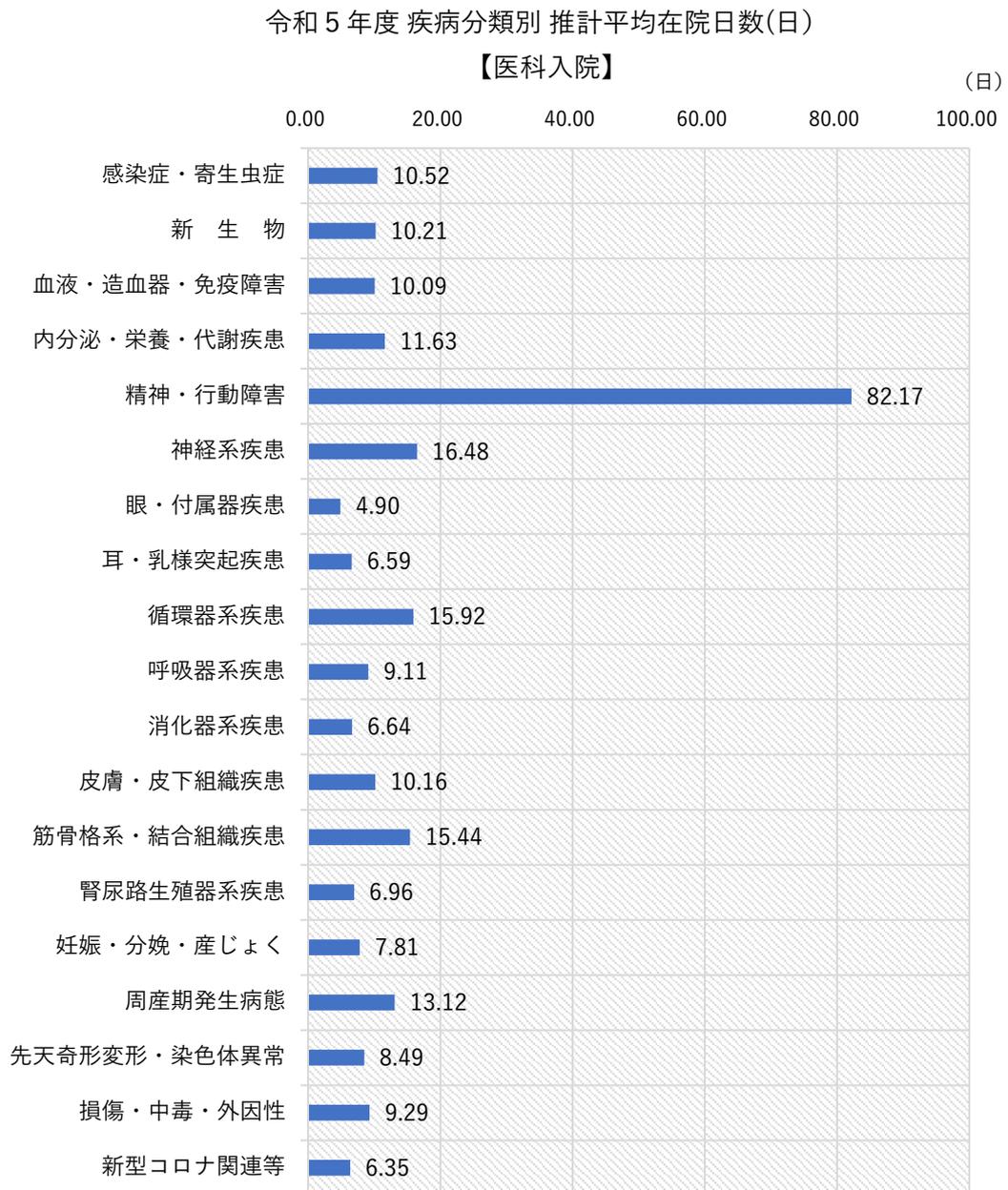
4) 加入者 1,000 人当たり推計新規入院件数

- 新生物が 7.738 件と最も高く、次いで、消化器系疾患：6.483 件、妊娠・分娩・産じょく：4.642 件、損傷・中毒・外因性：4.392 件—となっている。



5) 推計平均在院日数

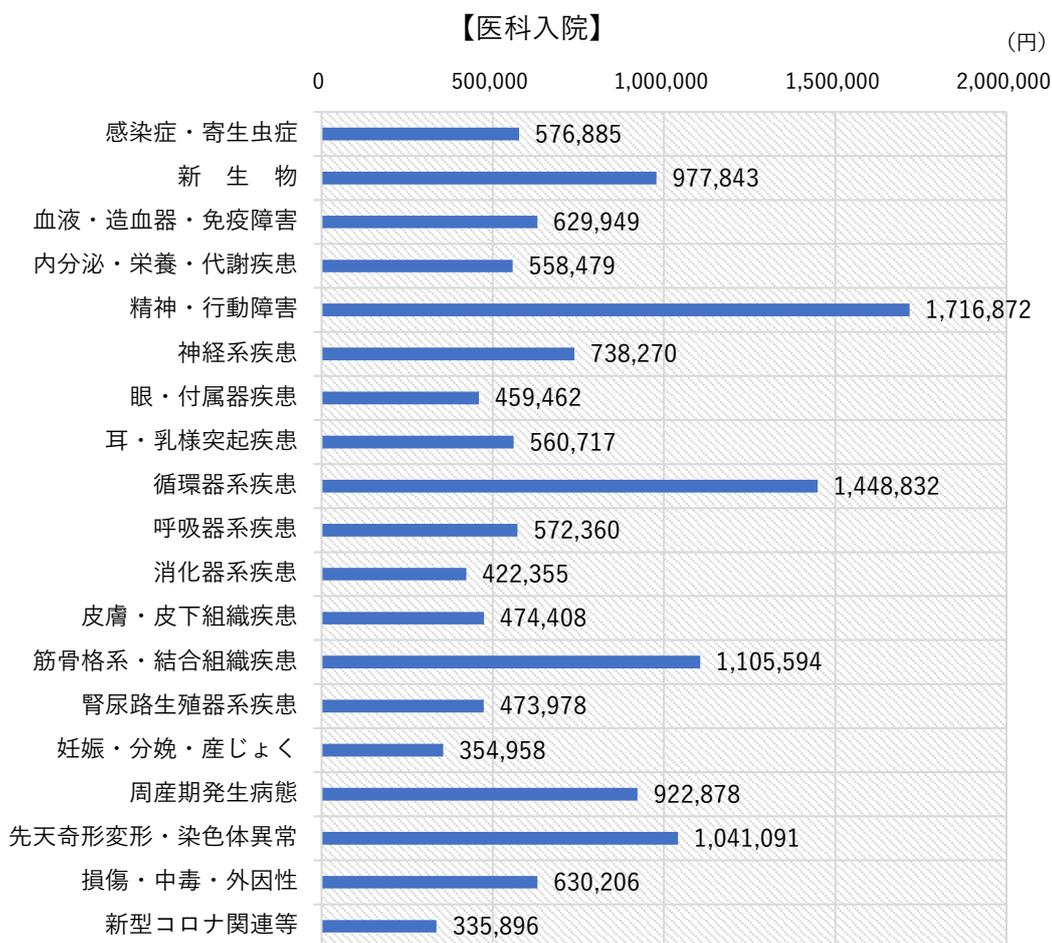
- 精神・行動障害が 82.17 日と最も高く、次いで、神経系疾患：16.48 日、循環器系疾患：15.92 日、筋骨格系・結合組織疾患：15.44 日となっている。



6) 推計1入院当たり医療費

- 精神・行動障害が171万6,872円と最も高く、次いで、循環器系疾患144万8,832円、筋骨格系・結合組織疾患110万5,594円となっている。
- 精神・行動障害と循環器系疾患の推計1入院当たり医療費が高い要因を2要素分解⁵からみると、精神・行動障害は循環器系疾患に比べ、推計平均在院日数が+66.25日多く、一方、循環器系疾患は精神・行動障害に比べ、1日当たり医療費が+7万129円高いことが主な要因となっている。

令和5年度 疾病分類別 推計1入院当たり医療費 (円)



(参考) 推計1入院当たり医療費の2要素分解：推計平均在院日数及び1日当たり医療費

	推計平均在院日数	1日当たり医療費
精神・行動障害	82.17日	20,894円
循環器系疾患	15.92日	91,023円

⁵ 推計1入院当たり医療費 = 推計平均在院日数 × 入院1日当たり医療費

(参考) 入院医療費 3 要素分解⁶

令和 5 年度 推計新規入院件数及び推計平均在院日数、推計 1 入院当たり医療費

疾病分類	推計新規入院件数 (件/千)	推計平均在院日数 (日)	推計 1 入院当たり 医療費 (円)
感染症・寄生虫症	0.940	10.52	576,885
新 生 物	7.738	10.21	977,843
血液・造血器・免疫障害	0.947	10.09	629,949
内分泌・栄養・代謝疾患	1.266	11.63	558,479
精神・行動障害	0.648	82.17	1,716,872
神経系疾患	2.167	16.48	738,270
眼・付属器疾患	1.483	4.90	459,462
耳・乳様突起疾患	0.403	6.59	560,717
循環器系疾患	4.241	15.92	1,448,832
呼吸器系疾患	3.808	9.11	572,360
消化器系疾患	6.483	6.64	422,355
皮膚・皮下組織疾患	0.550	10.16	474,408
筋骨格系・結合組織疾患	2.290	15.44	1,105,594
腎尿路生殖器系疾患	2.745	6.96	473,978
妊娠・分娩・産じょく	4.642	7.81	354,958
周産期発生病態	0.502	13.12	922,878
先天奇形変形・染色体異常	0.600	8.49	1,041,091
損傷・中毒・外因性	4.392	9.29	630,206
新型コロナ関連等	2.950	6.35	335,896

⁶ 入院医療費 = 推計新規入院件数 (入院発生) × 推計平均在院日数 (入院期間) × 入院 1 日当たり医療費 (入院単価)
詳細については、巻末 p.48 「参考：入院医療費の 3 要素分解について」を参照のこと。

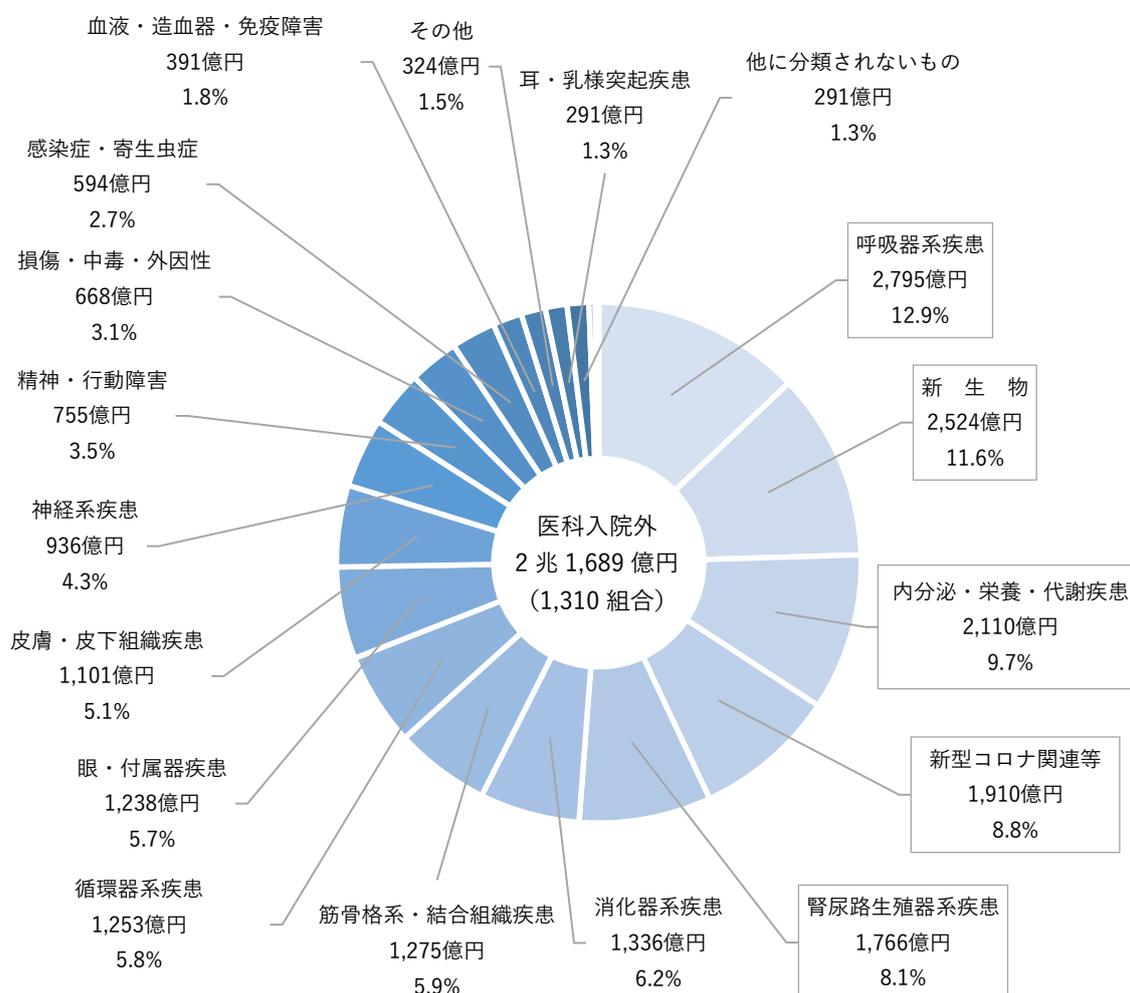
(3) 医科入院外 (* 調剤医療費を除く)

1) 医療費及び構成割合

- 疾病分類別医療費をみると、①呼吸器系疾患 2,795 億円 (構成割合 12.9%) が最も高く、次いで、②新生物 2,524 億円 (同 11.6%)、③内分泌・栄養・代謝疾患 2,110 億円 (同 9.7%)、④新型コロナ関連等 1,910 億円 (同 8.8%)、⑤腎尿路生殖器系疾患 1,766 億円 (同 8.1%) となっている。

令和 5 年度 疾病分類別医療費及び構成割合

【医科入院外】

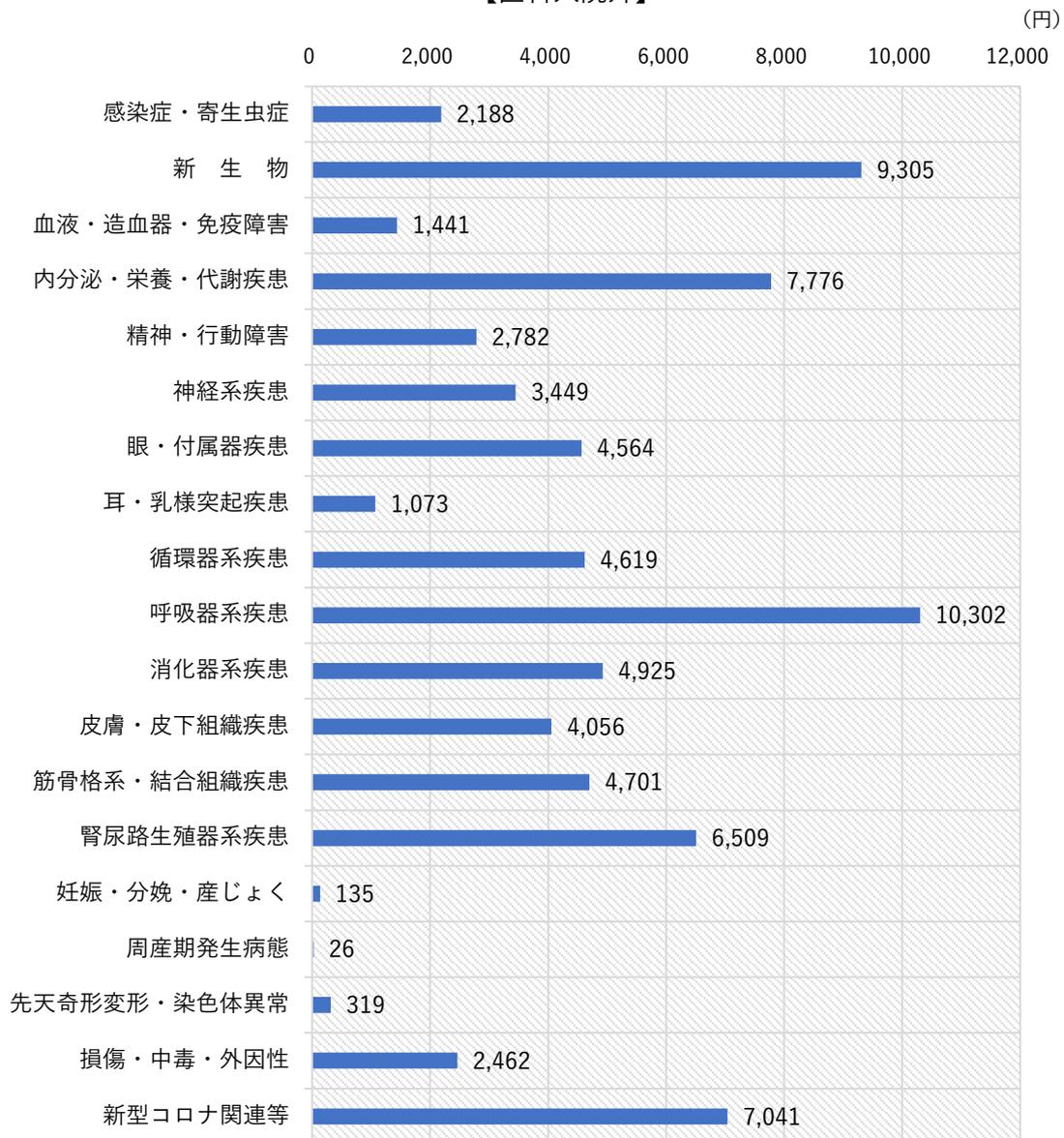


2) 加入者1人当たり医療費

- 加入者1人当たり医療費を高い順にみると、①呼吸器系疾患：1万302円、②新生物：9,305円、③内分泌・栄養・代謝疾患：7,776円、④新型コロナ関連等：7,041円、⑤腎尿路生殖器系疾患：6,509円—となっている。
- 加入者1人当たり医療費が高い呼吸器系疾患と新生物について、医療費3要素分解を用いて比較すると（p.29）、新生物は呼吸器系疾患に比べ、1件当たり日数が+0.12日長く、1日当たり医療費が+2万1,487円高いものの、呼吸器系疾患は新生物に比べ、受診率が+1,041.989高く、加入者1人当たり医療費は高くなっている。

令和5年度 疾病分類別 加入者1人当たり医療費（円）

【医科入院外】



(参考) 令和5年度 疾病分類別 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

医科入院外				
疾病分類	1人当たり医療費 (円)	受診率 (件/千人)	1件当たり日数 (日)	1日当たり医療費 (円)
感染症・寄生虫症	2,188	233.817	1.44	6,518
新生物	9,305	237.097	1.42	27,690
血液・造血器・免疫障害	1,441	28.131	1.38	37,238
内分泌・栄養・代謝疾患	7,776	552.613	1.17	12,027
精神・行動障害	2,782	320.742	1.39	6,228
神経系疾患	3,449	231.030	1.30	11,462
眼・付属器疾患	4,564	582.281	1.13	6,966
耳・乳様突起疾患	1,073	125.383	1.39	6,136
循環器系疾患	4,619	424.801	1.15	9,451
呼吸器系疾患	10,302	1279.086	1.30	6,203
消化器系疾患	4,925	293.573	1.27	13,257
皮膚・皮下組織疾患	4,056	678.538	1.22	4,909
筋骨格系・結合組織疾患	4,701	382.472	1.98	6,193
腎尿路生殖器系疾患	6,509	260.492	1.68	14,900
妊娠・分娩・産じょく	135	12.644	1.68	6,350
周産期発生病態	26	1.374	1.51	12,647
先天奇形変形・染色体異常	319	12.420	1.22	21,065
損傷・中毒・外因性	2,462	192.561	1.91	6,703
新型コロナ関連等	7,041	481.898	1.32	11,090

3) 加入者1人当たり医療費の対前年度比伸び率：1,294 組合ベース

- 加入者1人当たり医療費の対前年度比伸び率を高い順にみると、呼吸器系疾患が+35.8%と最も増加し、次いで、神経系疾患+14.3%、耳・乳様突起疾患+11.2%—の増加となっている。一方、新型コロナ関連等は▲30.3%と最も減少した。
- 呼吸器系疾患が大きく伸びた要因を医療費3要素分解からみると、1件当たり日数は0.0%、1日当たり医療費は▲3.0%減少したものの、受診率が+40.0%と大きく増加したことによる。
- また、新型コロナ関連等が大きく減少した要因を医療費3要素分解からみると、受診率が▲1.8%減少、1件当たり日数が▲6.4%減少し、さらに1日当たり医療費が▲24.1%と大きく減少したことによる。

令和5年度 医療費総額、加入者1人当たり医療費及び医療費3要素 対前年度比伸び率(%)

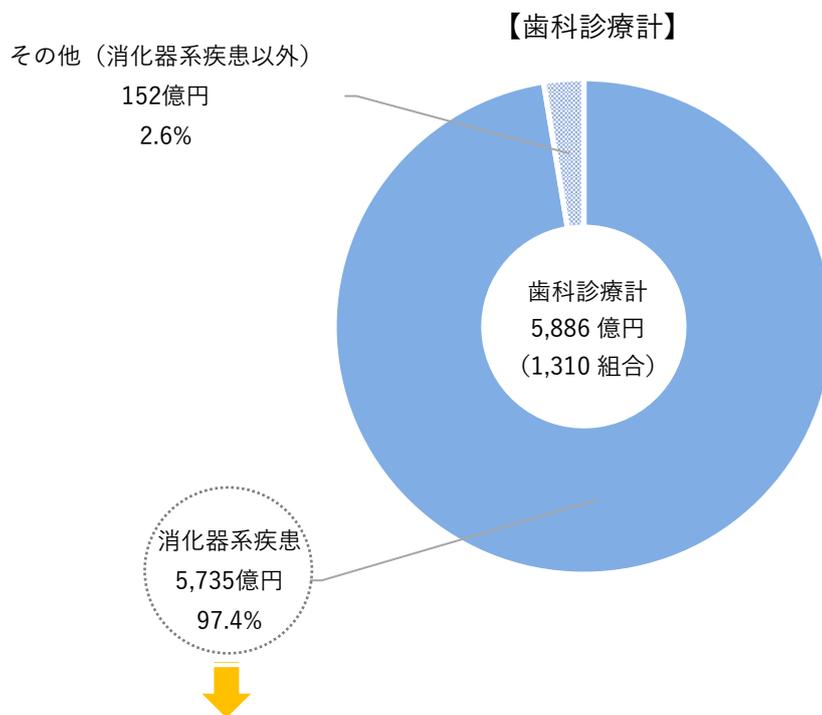
医科入院外					
疾病分類	医療費総額	加入者1人 当たり医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	6.0	6.6	8.9	▲1.4	▲0.5
新生物	4.1	4.7	3.0	▲0.7	3.0
血液・造血器・免疫障害	7.5	8.1	4.1	▲0.7	4.9
内分泌・栄養・代謝疾患	2.1	2.7	2.0	0.0	0.6
精神・行動障害	2.8	3.4	3.9	▲1.4	0.7
神経系疾患	13.7	14.3	6.3	▲1.5	9.0
眼・付属器疾患	3.1	3.7	1.3	0.0	2.3
耳・乳様突起疾患	10.6	11.2	9.2	1.5	0.1
循環器系疾患	▲0.2	0.4	▲0.2	0.0	0.8
呼吸器系疾患	35.1	35.8	40.0	0.0	▲3.0
消化器系疾患	4.0	4.6	▲0.2	0.0	5.2
皮膚・皮下組織疾患	5.3	5.9	2.6	0.0	3.4
筋骨格系・結合組織疾患	1.0	1.6	0.4	▲1.0	2.1
腎尿路生殖器系疾患	3.3	3.8	4.5	▲2.9	2.7
妊娠・分娩・産じょく	▲6.8	▲6.2	▲7.0	▲1.2	1.9
周産期発生病態	▲16.3	▲16.1	▲8.3	0.0	▲8.3
先天奇形変形・染色体異常	9.2	9.6	▲2.2	0.0	12.6
損傷・中毒・外因性	3.6	4.2	2.2	▲0.5	2.4
新型コロナ関連等	▲30.7	▲30.3	▲1.8	▲6.4	▲24.1

(4) 歯科診療計

1) 医療費及び構成割合

- 歯科診療計について疾病分類別医療費をみると、①消化器系疾患：5,735 億円（構成割合 97.4%）、②その他（消化器系疾患以外）：152 億円（同 2.6%）となっている。
- なお、消化器系疾患の 119 分類別医療費をみると、①歯肉炎・歯周疾患：4,831 億円（構成割合 84.2%）が最も高く、次いで、②歯・歯の支持組織障害：443 億円（同 7.7%）、③う蝕：436 億円（同 7.6%）、④その他：25 億円（同 0.4%）となっており、歯科 3 疾患で歯科診療費全体の 97.0%を占める。

令和 5 年度 疾病分類別（歯科）医療費及び構成割合



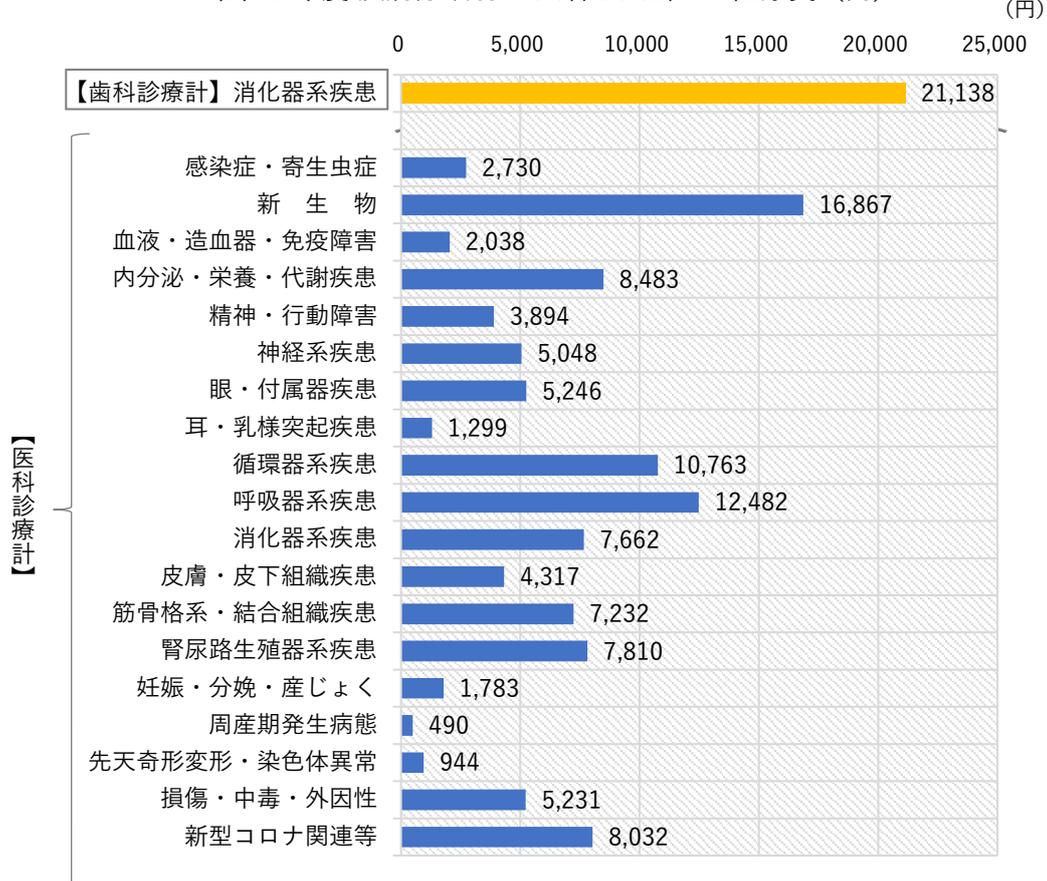
歯科診療計：消化器系疾患

	医療費総額	構成割合
う蝕	436 億円	7.6%
歯肉炎・歯周疾患	4,831 億円	84.2%
歯・歯の支持組織障害	443 億円	7.7%
その他	25 億円	0.4%
計	5,735 億円	100.0%

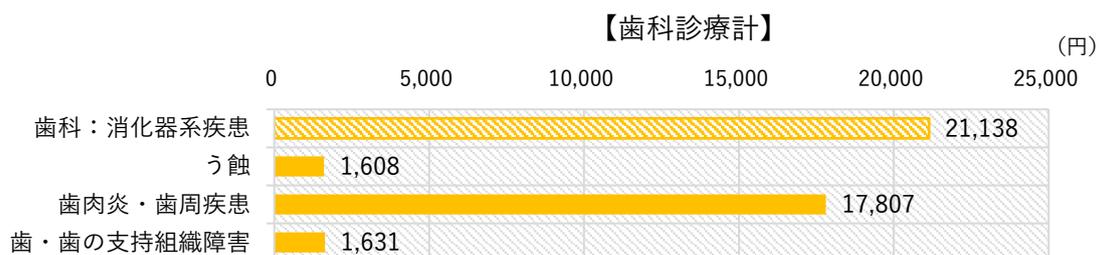
2) 加入者1人当たり医療費

- 歯科診療計：消化器系疾患（以下、「歯科」という。）の加入者1人当たり医療費は2万1,138円となっており、医科・歯科計で見ると、「歯科」が最も高く、次いで、新生物：1万6,867円、呼吸器系疾患：1万2,482円となっている。
- 歯科が高い要因について、医療費3要素分解から新生物と比較すると（p.33）、新生物に比べ、歯科では1件当たり日数は▲0.22日短く、1日当たり医療費は▲3万2,464円低いが、受診率が+1,527.832高いことによる。
- なお、歯科3疾患別の加入者1人当たり医療費をみると、歯肉炎・歯周疾患：1万7,807円が最も高く、次いで、歯・歯の支持組織の障害：1,631円、う蝕：1,608円となっている。

令和5年度 疾病分類別 加入者1人当たり医療費（円）



令和5年度 歯科3疾患別 加入者1人当たり医療費（円）



3) 加入者1人当たり医療費の対前年度比伸び率：1,294 組合ベース

- 加入者1人当たり医療費の対前年度比伸び率は+4.0%となっており、その要因を医療費3要素分解からみると、1件当たり日数は▲2.0%減少したものの、受診率が+4.3%と大きく増加し、さらに1日当たり医療費が+1.9%増加したことによる。
- また、歯科3疾患では、歯肉炎・歯周疾患が+4.6%と大きく増加しており、その要因を医療費3要素分解からみると、1件当たり日数は▲2.0%減少しているが、受診率が+5.1%と大きく増加し、さらに、1日当たり医療費が+1.9%増加したことによる。

令和5年度 医療費総額、加入者1人当たり医療費及び医療費3要素 対前年度比伸び率(%)

歯科診療計

疾病分類	医療費総額	加入者1人 当たり医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
消化器系疾患	3.4	4.0	4.3	▲2.0	1.9
う蝕	▲1.5	▲0.9	▲0.9	▲0.7	0.7
歯肉炎・歯周疾患	4.0	4.6	5.1	▲2.0	1.9
歯・歯の支持組織障害	2.2	2.7	1.0	▲2.2	▲3.6

令和5年度 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

歯科診療計

疾病分類	加入者1人当たり 医療費 (円)	受診率 (件/千人)	1件当たり 日数 (日)	1日当たり 医療費 (円)
消化器系疾患	21,138	1,775.011	1.46	8,176
う蝕	1,608	152.4915	1.38	7,646
歯肉炎・歯周疾患	17,807	1509.7753	1.44	8,190
歯・歯の支持組織障害	1,631	104.8385	1.81	8,583
(参考) 医科診療計：新生物	16,867	247.179	1.68	40,640

II. 疾病分類別推計受診者数（年度平均）⁷

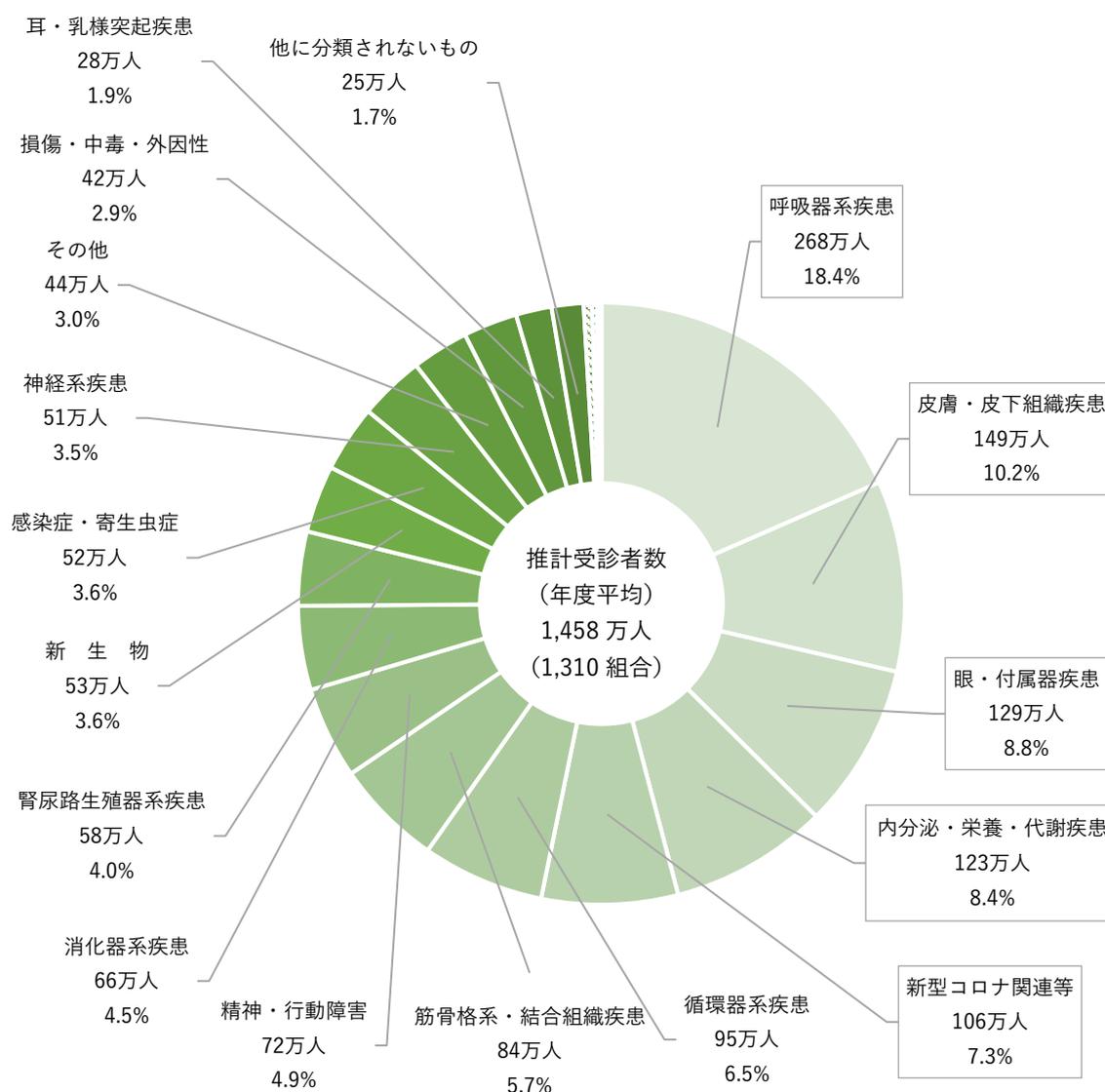
（1）医科診療計

1）推計受診者数（年度平均）及び構成割合

- 疾病分類別推計受診者数（年度平均）をみると、①呼吸器系疾患：268万人（構成割合18.4%）、②皮膚・皮下組織疾患：149万人（同10.2%）、③眼・付属器疾患：129万人（同8.8%）、④内分泌・栄養・代謝疾患：123万人（同8.4%）、⑤新型コロナウイルス関連等：106万人（同7.3%）—となっている。

令和5年度 疾病分類別 推計受診者数（年度平均）及び構成割合

【医科診療計】



注) 推計受診者数割合が1.0%未満の疾病については、グラフ中の表示を省略している（以下、同じ）。

⁷ 当該年度の各月の受診者数の和を12で除したものである。これは、組合提供の月別の医療費データは集計値であり、受診者数については当該月に報告のあった受診者数に他の月と同一の受診者が計上される場合があることから、当該年度の集計にあたっては、各月の受診者数を累計した値を12で除した推計値を用いている。

(参考) 疾病分類別推計受診者数 構成割合：前年度との比較

医科診療計		
疾病分類	構成割合 (%)	
	令和5年度 (1,310 組合)	令和4年度 (1,310 組合)
感染症・寄生虫症	3.6	3.5
新生物	3.6	3.8
血液・造血器・免疫障害	0.5	0.5
内分泌・栄養・代謝疾患	8.4	8.9
精神・行動障害	4.9	5.1
神経系疾患	3.5	3.5
眼・付属器疾患	8.8	9.4
耳・乳様突起疾患	1.9	1.9
循環器系疾患	6.5	7.0
呼吸器系疾患	18.4	14.4
消化器系疾患	4.5	4.9
皮膚・皮下組織疾患	10.2	10.7
筋骨格系・結合組織疾患	5.7	6.1
腎尿路生殖器系疾患	4.0	4.1
妊娠・分娩・産じょく	0.3	0.3
周産期発生病態	0.0	0.0
先天奇形変形・染色体異常	0.2	0.2
他に分類されないもの	1.7	1.7
損傷・中毒・外因性	2.9	3.0
新型コロナ関連等	7.3	7.9
その他	3.0	3.2

注1) 「他に分類されないもの」とは、「XVIII：症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)」である。

注2) 「新型コロナ関連等」は、新型コロナウイルス (COVID-19) が疾病分類上、「XXII：特殊目的用コード (U00-99)」に分類されているため、本調査では便宜上、名称を「新型コロナ関連等」と置き換えている。

注3) 「その他」とは、「XXI：健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 (Z00-Z99)」のほか、ワープロ病名・不詳等である。

注4) なお、加入者1,000人当たり受診者数 (別掲「グラフ」) については、便宜上、「他に分類されるもの」及び「その他」を省略している。

2) 加入者 1,000 人当たり受診者数⁸

- 加入者 1,000 人当たり受診者数を上位順にみると、①呼吸器系疾患：98.92 人、②皮膚・皮下組織疾患：55.02 人、③眼・付属器疾患：47.54 人、④内分泌・栄養・代謝疾患：45.37 人、⑤新型コロナ関連等：39.04 人—となっている。

令和 5 年度 疾病分類別 加入者1,000人当たり受診者数 (人)

【医科診療計】

(人)



⁸ 当該年度の平均推計受診者数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したもの）で除し、1,000 倍したものである。

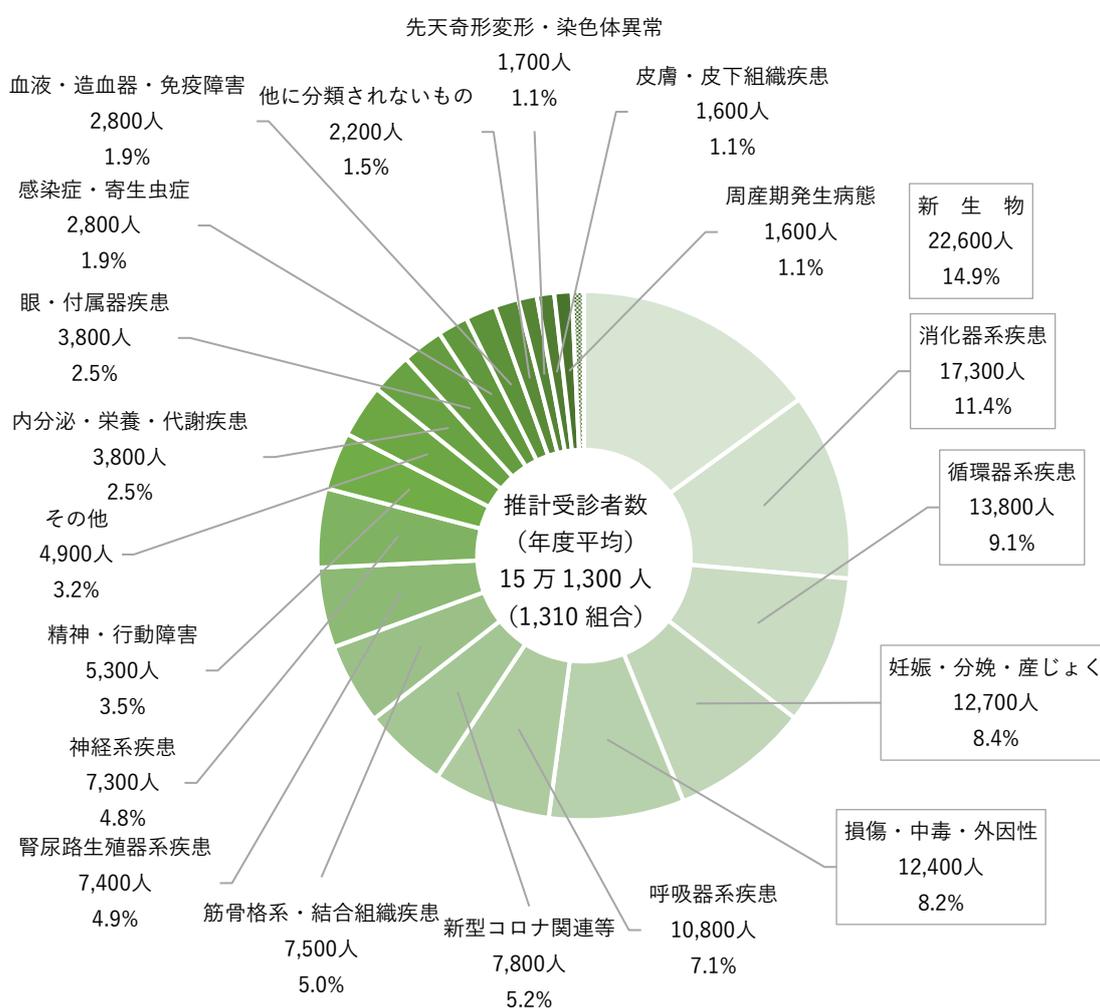
(2) 医科入院

1) 推計受診者数及び構成割合

- 疾病分類別推計受診者数（年度平均）をみると、①新生物：2万2,600人（構成割合14.9%）、②消化器系疾患：1万7,300人（同11.4%）、③循環器系疾患：1万3,800人（同9.1%）、④妊娠・分娩・産じょく：1万2,700人（同8.4%）、⑤損傷・中毒・外因性：1万2,400人（同8.2%） — となっている。

令和5年度 疾病分類別 推計受診者数（年度平均）及び構成割合

【医科入院】



(参考) 疾病分類別 推計受診者数 構成割合：前年度との比較

医科入院

疾病分類	構成割合 (%)	
	令和5年度 (1,310 組合)	令和4年度 (1,310 組合)
感染症・寄生虫症	1.8	1.6
新生物	15.0	15.5
血液・造血器・免疫障害	1.8	1.8
内分泌・栄養・代謝疾患	2.5	2.3
精神・行動障害	3.5	3.4
神経系疾患	4.8	4.6
眼・付属器疾患	2.5	2.5
耳・乳様突起疾患	0.7	0.6
循環器系疾患	9.1	9.0
呼吸器系疾患	7.1	5.2
消化器系疾患	11.4	11.6
皮膚・皮下組織疾患	1.1	0.9
筋骨格系・結合組織疾患	5.0	4.7
腎尿路生殖器系疾患	4.9	4.9
妊娠・分娩・産じょく	8.4	8.9
周産期発生病態	1.0	1.2
先天奇形変形・染色体異常	1.1	1.2
他に分類されないもの	1.5	1.4
損傷・中毒・外因性	8.2	7.9
新型コロナ関連等	5.2	7.8
その他	3.2	3.1

2) 加入者 1,000 人当たり受診者数

- 加入者 1,000 人当たり受診者数を上位順にみると、①新生物：0.835 人、②消化器系疾患：0.637 人、③循環器系疾患：0.509 人、④妊娠・分娩・産じょく：0.469 人、⑤損傷・中毒・外因性：0.459 人—となっている。



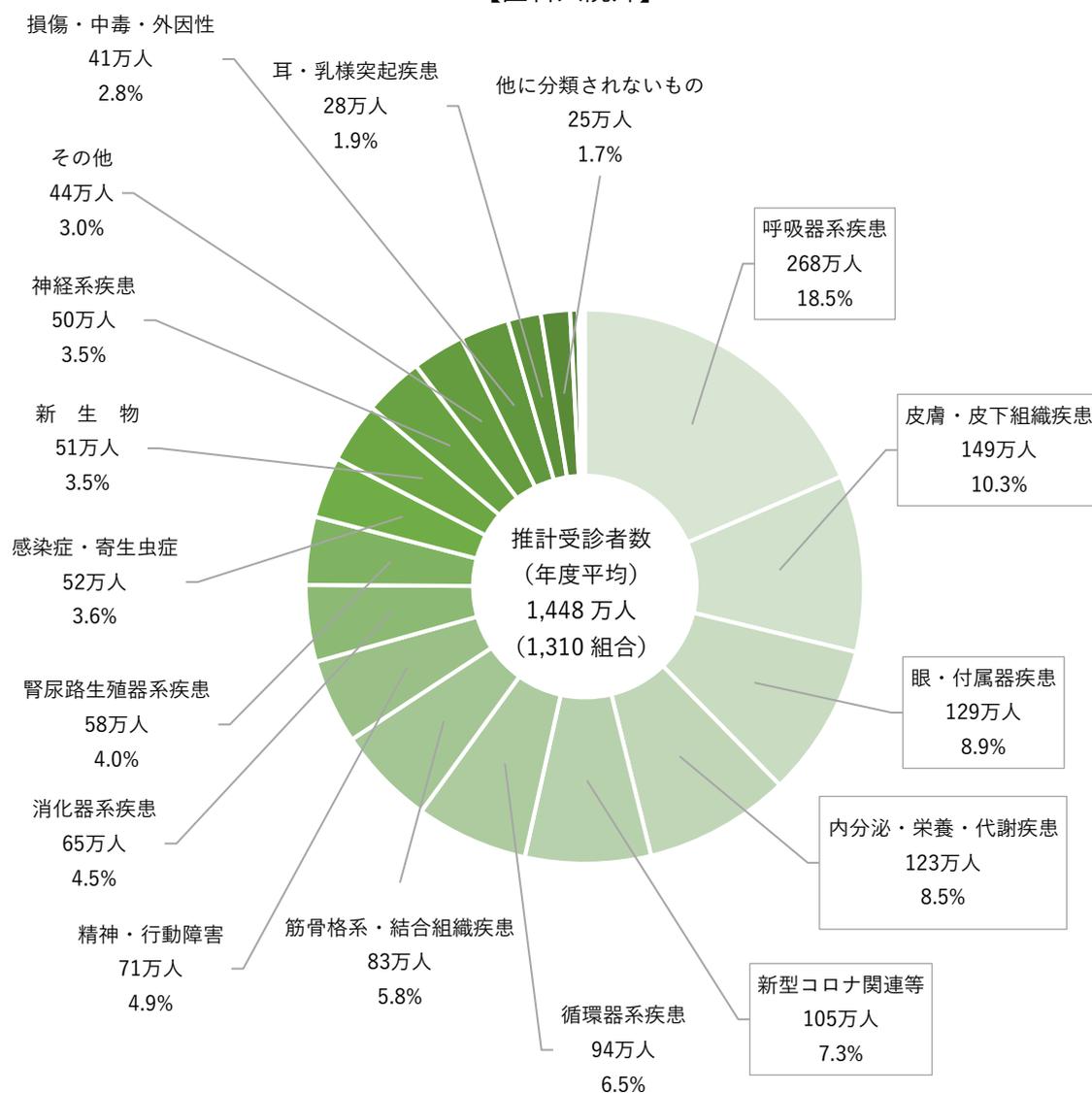
(3) 医科入院外

1) 推計受診者数及び構成割合

- 疾病分類別推計受診者数（年度平均）をみると、①呼吸器系疾患：268万人（構成割合18.5%）、②皮膚・皮下組織疾患：149万人（同10.3%）、③眼・付属器疾患：129万人（同8.9%）、④内分泌・栄養・代謝疾患：123万人（同8.5%）、⑤新型コロナ関連等：105万人（同7.3%）となっている。

令和5年度 疾病分類別 推計受診者数及び構成割合

【医科入院外】



(参考) 疾病分類別 推計受診者数 構成割合：前年度との比較

医科入院外

疾病分類	構成割合 (%)	
	令和5年度 (1,310 組合)	令和4年度 (1,310 組合)
感染症・寄生虫症	3.6	3.5
新生物	3.5	3.7
血液・造血器・免疫障害	0.4	0.5
内分泌・栄養・代謝疾患	8.5	8.9
精神・行動障害	4.9	5.1
神経系疾患	3.5	3.5
眼・付属器疾患	8.9	9.4
耳・乳様突起疾患	1.9	1.9
循環器系疾患	6.5	7.0
呼吸器系疾患	18.5	14.5
消化器系疾患	4.5	4.8
皮膚・皮下組織疾患	10.3	10.8
筋骨格系・結合組織疾患	5.8	6.2
腎尿路生殖器系疾患	4.0	4.1
妊娠・分娩・産じょく	0.2	0.2
周産期発生病態	0.0	0.0
先天奇形変形・染色体異常	0.2	0.2
他に分類されないもの	1.7	1.7
損傷・中毒・外因性	2.8	3.0
新型コロナウイルス関連等	7.3	7.9
その他	3.0	3.2

2) 加入者 1,000 人当たり受診者数

- 加入者 1,000 人当たり受診者数を上位順にみると、①呼吸器系疾患：98.71 人、②皮膚・皮下組織疾患：54.97 人、③眼・付属器疾患：47.49 人、④内分泌・栄養・代謝疾患：45.27 人、⑤新型コロナ関連等：38.81 人—となっている。

令和 5 年度 疾病分類別 加入者1,000人当たり受診者数 (人)

【医科入院外】



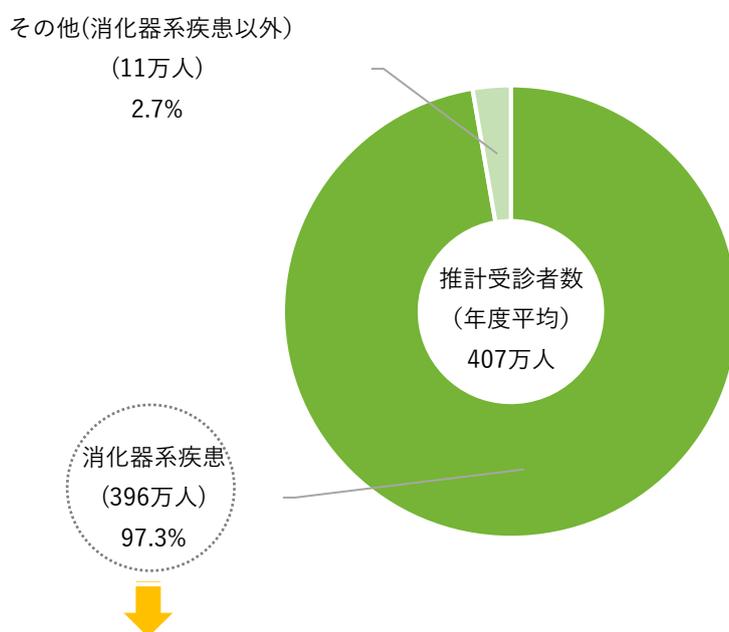
(4) 歯科診療計

1) 推計受診者数（年度平均）及び構成割合

- 疾病分類別推計受診者数をみると、①消化器系疾患：396 万人（構成割合 97.3%）、②その他（消化器系疾患以外）：11 万人（同 2.7%） — となっている。
- 消化器系疾患の 119 分類別受診者数をみると、①歯肉炎・歯周疾患：339 万人（構成割合 85.1%）が最も高く、次いで、②う蝕：34 万人（同 8.6%）、③歯・歯の支持組織障害：23 万人（同 5.8%）、④その他：2 万人（同 0.4%） — となっている。

令和 5 年度 疾病分類別 推計受診者数（年度平均）

【歯科診療計】



歯科診療計：消化器系疾患

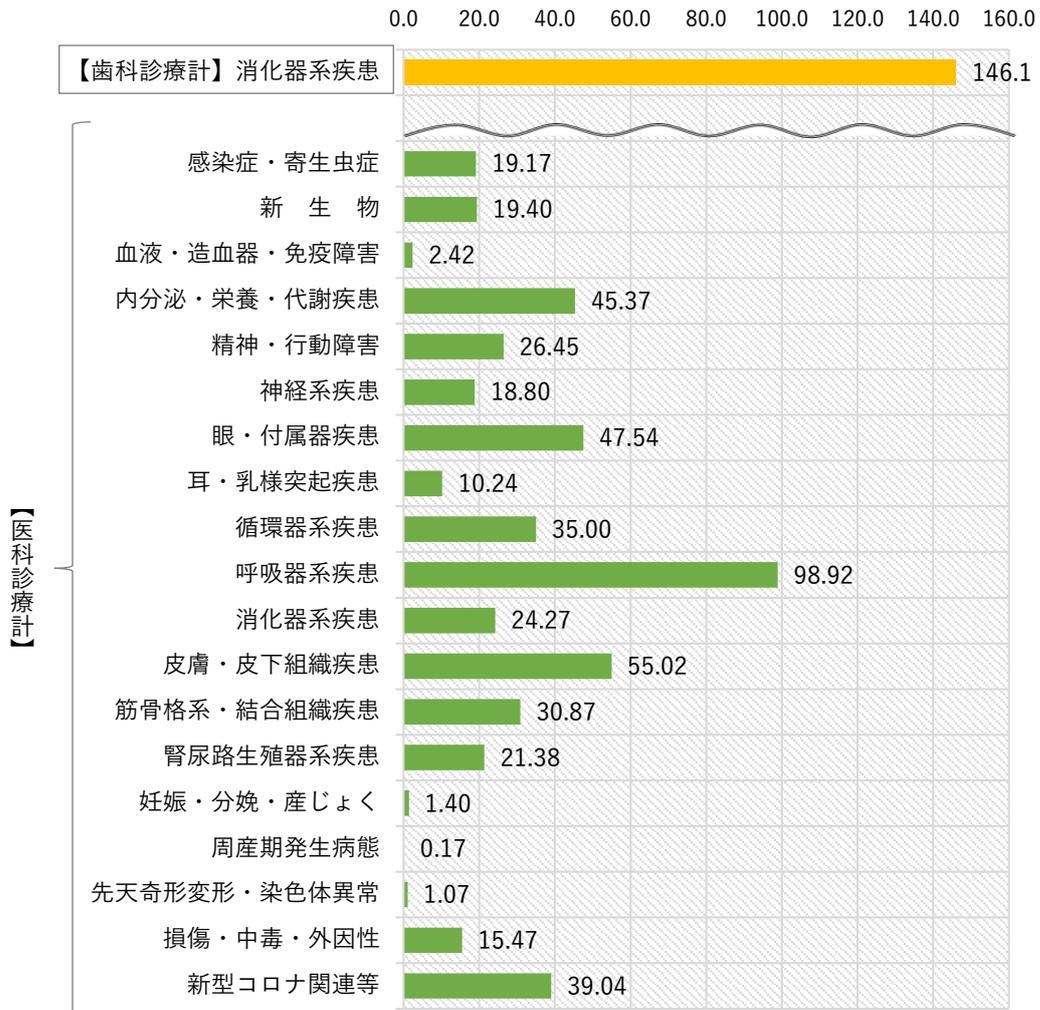
	推計受診者数（年度平均） （万人）	加入者 1,000 人当たり 受診者数（人）
歯科：消化器系疾患	396	146.1
う蝕	34	12.7
歯肉炎・歯周疾患	339	125.1
歯・歯の支持組織障害	23	8.6
その他	2	0.6

注) 端数処理の関係上、合計が一致しない。

2) 加入者 1,000 人当たり受診者数

- 歯科診療計：消化器系疾患（以下、「歯科」という）の加入者 1,000 人当たり受診者数は 146.1 人となっており、医科・歯科計でみると、「歯科」が最も多く、次いで、呼吸器系疾患：98.92 人、皮膚・皮下組織疾患：55.02 人となっている。

令和 5 年度 疾病分類別 加入者1,000人当たり受診者数(人) (人)



令和 5 年度 歯科 3 疾患別 加入者1,000人当たり受診者数 (人)



1. 本調査における留意点

第1部：医療費の概況

- 社会保険診療報酬支払基金「診療報酬等請求内訳書等データ」をもとに、健保組合全件分（1,380組合）のデータを集計したものである。電算処理レセプトのほか、紙媒体レセプトを含め、全レセプトを対象とした再審査分等調整後の確定ベースの数値である。医療費総額には、医科・歯科・調剤費のほか、入院時食事・生活医療費⁹及び訪問看護医療費¹⁰の費用額が含まれている。
- 加入者数については、便宜上、本会実施の「年齢階級別加入者数調査」による5年10月末現在の加入者数を用いている。

対象レセプトの件数：支払基金「診療報酬等請求内訳書等データ」

	総計（本人+家族+高齢者）					前期高齢者 （65-74歳） （再掲）
	本人	家族	未就学児 （再掲）	高齢者 （70-74歳）		
医科計	192,337,051	101,298,658	86,598,131	21,863,260	4,440,262	11,910,261
入院	2,149,749	1,136,031	920,619	317,681	93,099	213,745
入院外	190,187,302	100,162,627	85,677,512	21,545,579	4,347,163	11,696,516
歯科計	52,535,385	30,083,470	21,439,746	2,906,398	1,012,169	2,885,814
調剤	128,718,528	66,398,468	59,361,133	16,326,542	2,958,927	7,915,293
総計	373,590,964	197,780,596	167,399,010	41,096,200	8,411,358	22,711,368

加入者数（各年10月末現在）：健保連「年齢階級別加入者数調査」

	令和5年（10月末）	令和4年（10月末）	対前年同月比 伸び率
総計	28,102,196	28,302,519	-0.7%
本人	16,522,262	16,399,912	0.8%
家族	11,235,677	11,541,392	-2.7%
（再掲）未就学児	1,928,903	2,000,765	-3.6%
高齢者（70-74歳）	344,257	361,215	-4.7%
（再掲）前期高齢者（65-74歳）	1,018,793	1,020,259	-0.1%

注）本人・家族は70歳未満の加入者数である。

⁹ 入院時食事・生活医療費とは、入院時食事療養費、食事療養標準負担額、入院時生活療養費及び生活療養標準負担額の合計額である。

¹⁰ 訪問看護医療費とは、訪問看護療養費及び基本利用料の合計額である。

第2部：疾病分類別医療費の概況

(1) 調査対象の組合数及びレセプトデータ

本会へデータ提供のあった1,310組合の医科・歯科の電算処理レセプトデータを集計したものである。調剤医療費のほか、紙レセプト、入院時食事・生活医療費及び訪問看護医療費は含まれていない。また、対前年度比伸び率は1,310組合のうち、5年度と4年度の両年度にわたりデータ提供のあった同一の1,294組合の数値をもとに算出している。

(2) 疾病分類別医療費等の集計方法

疾病分類別の各数値は、1枚のレセプトに記載された1ないし複数の疾病名のうち、医療資源を最も投入した疾病名を主傷病（代表疾病）として、1レセプト1病名に基づき集計したものである。

疾病分類別医療費（1,310組合）：レセプト件数及び医療費総額

	レセプト件数（件）	医療費総額（円）
医科計	181,951,251	3,135,904,979,820
入院	1,833,679	967,043,693,620
入院外	180,117,572	2,168,861,286,200
歯科計	49,469,835	588,648,391,450

加入者数（年度平均）

	加入者数（人）
総計	27,130,518
本人	16,210,403
家族	10,920,207

(3) 新型コロナウイルス（COVID-19）の疾病19分類区分と分類名

「新型コロナウイルス（COVID-19）」は、疾病19分類（社会保険表章用疾病分類表）では「XXⅡ：特殊目的用コード（U00-99）」に分類されているが、本調査では便宜上、名称を「新型コロナ関連等」と置き換えている。

(4) 疾病分類における「歯科」の取り扱い

疾病分類（歯科）のうち、「消化器系疾患」の医療費が全体の9割以上を占め、かつ、①う蝕、②歯肉炎及び歯周疾患、③歯及び歯の支持組織の障害一の主要3疾患が計上されていることから、便宜上、「消化器系疾患」を「歯科」としている。

2. 用語の定義

① 加入者1人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したものの）で除したものの。

② 受診率（1,000人当たりレセプト件数）

当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したものの）で除し1,000倍したものの。

③ レセプト1件当たり日数

当該年度の診療実日数をレセプト件数で除したものの。

④ 1日当たり医療費

当該年度の医療費を診療実日数で除したものの。

⑤ 加入者1人当たり医療費の3要素分解

加入者1人当たり医療費は、①受診率、②1件当たり日数、③1日当たり医療費の積に分解することができる。

⑥ 推計受診者数（年度平均）

当該年度の各月の受診者数の和を12で除したものの。これは、組合提供の月別の医療費データは集計値であり、受診者数については当該月に報告のあった受診者数に他の月と同一の受診者が計上される場合があることから、当該年度の集計にあたっては、各月の受診者数を累計した値を12で除した推計値を用いている。

⑦ 加入者1,000人当たり受診者数（年度平均）

当該年度の平均推計受診者数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したものの）で除し1,000倍したものの。

⑧ 推計新規入院件数（1,000人当たり件数）

当該年度4月～3月までの各月に新たに入院した患者数の合計（推計値）である。

⑨ 推計平均在院日数

退院日を含む平均在院日数の推計値である。

⑩ 推計1入院当たり医療費

入院患者1人にかかる、入院してから退院するまでの医療費の推計値である。

(参考) 入院医療費の3要素分解について

入院医療費は、【推計新規入院件数】(入院発生)、【推計平均在院日数】(入院期間)、③【入院の1日当たり医療費】(入院単価) — の3要素の積に分解でき、さらに、「推計新規入院件数」と「推計1入院当たり医療費」(*推計平均在院日数に入院の1日当たり医療費を乗じて得た1入院当たり医療費)の積に分解できる。

推計新規入院件数

$$\text{推計新規入院件数} = \text{受診率 (件)} \times \frac{\text{月の日数(*)} - 1 \text{ 件当たり日数}}{\text{月の日数} - 1 \text{ 日}}$$

推計平均在院日数

$$\text{推計平均在院日数} = 1 \text{ 件当たり日数} \times \frac{\text{月の日数} - 1 \text{ 日}}{\text{月の日数} - 1 \text{ 件当たり日数}}$$

推計1入院当たり医療費

$$\text{推計1入院当たり医療費} = \text{推計平均在院日数} \times \text{入院の1日当たり医療費}$$

入院医療費

$$\begin{aligned} \text{入院医療費} &= \text{入院受診延日数} \times \text{入院の1日当たり医療費} \\ &= \text{推計新規入院件数} \times \text{推計平均在院日数} \times \text{入院の1日当たり医療費} \\ &= \text{推計新規入院件数} \times \text{推計1入院当たり医療費} \end{aligned}$$

資料：厚生労働省「推計新規入院件数、推計平均在院日数及び推計1入院当たり医療費～入院医療費の3要素分解～」(<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/iryouhoken03/06.html>) 及び「推計平均在院日数の数理分析(II)」・「算定式と関係式一覧」(p.3)をもとに作成

(*) 計算式における「月の日数」について

【単月】の場合 1ヵ月の暦日数。
例) 1月は31日。2月は28日または29日(閏年)

【複数月】の場合 複数月の日数の合計を月数で割ったもの。
例) 12ヵ月の場合：365(閏年366)日 ÷ 12 = 30.42 (≒ 30.5)
